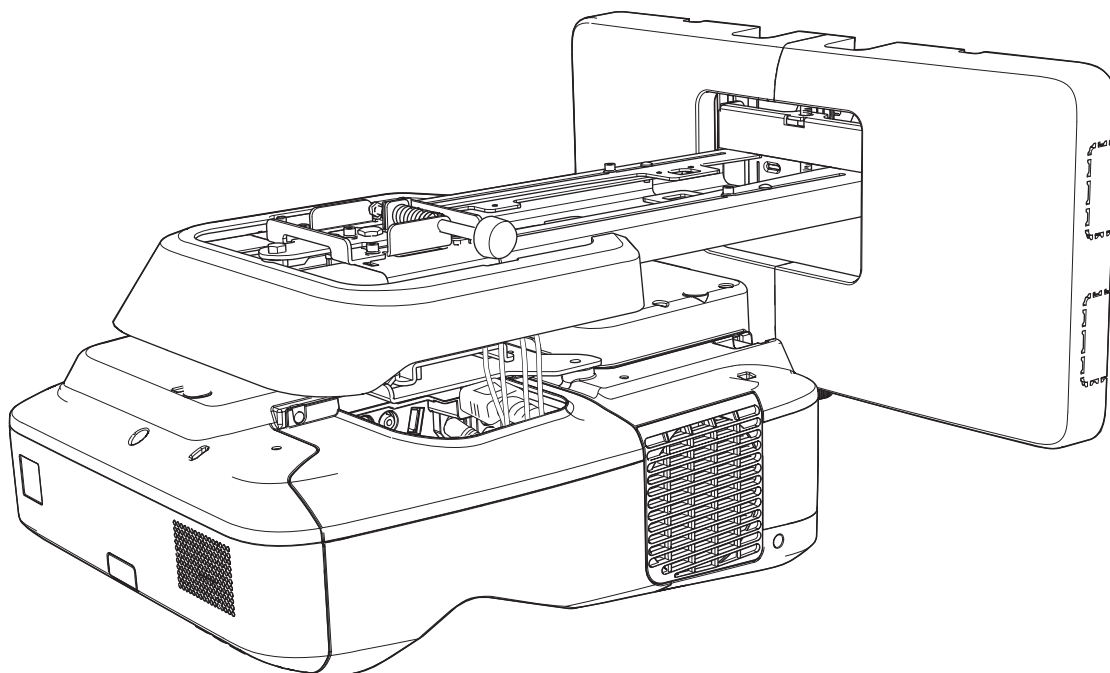


EB-685W/EB-680

設置工事説明書



安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本書をお読みください。本書の内容に反した取り扱いは故障や事故の原因となります。本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

プロジェクターの『取扱説明書』と『安全にお使いいただくために』をご確認いただき、取り扱いの注意事項をお守りください。

安全に関する表示

取扱説明書および本製品には、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

記号の意味

記号	意味
	行為を禁止する記号
	行為を指示する記号
	関連する情報や知っておくと便利な情報

設置上のご注意

 警告	
セッティングプレートはプロジェクターの壁掛け設置専用品です。プロジェクター以外のものを取り付けるとその重さによっては破損することがあります。 本製品が壊れて落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	
壁への取り付け（壁掛け設置）工事は、特別な技術が必要です。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。	
本製品は、本書の記載に沿って設置してください。 記載事項を守らないと、本製品が落下し、けがや事故の原因となります。	

 警告	
電源コードの取り扱いには注意してください。 取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。取り扱いの際には、次の点を守ってください。 - 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。 - 破損や加工した電源コードを使用しない。 - 電源コードをセッティングプレートに通すときは、強い力で引っ張らない。	
振動や衝撃が伝わる不安定な場所には設置しないでください。 本製品や設置面が破損するおそれがあります。また、本製品が落下して人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	
壁に取り付ける際は、プロジェクターとセッティングプレートの質量および横揺れにも十分耐えられるようにプレートを取り付けてください。ナット・ボルト等はM10を使用してください。 M10より小さいと落下事故の原因となります。取り付けの強度不足等による落下事故につきましては、当社は一切責任を負いませんのでご了承ください。	
本製品は必ず二人以上の専門業者で設置してください。設置中にネジ類を緩めるときは、本製品が落下しないように取り扱ってください。 本製品が落下して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	
本製品を壁に取り付けるときは、プロジェクターとセッティングプレートを支えるために壁には十分な強度が必要です。 本製品はコンクリートの壁に取り付けてください。プロジェクターとセッティングプレートの最大総重量は、約13.5kgです（ケーブル類含まず）。本製品を壁に設置する前に、壁の強度を確保してください。強度不足のときは、十分に補強してから設置してください。	
定期的に、破損箇所やネジ類の緩みがないか点検してください。 破損箇所があるときはすぐに使用を中止してください。本製品が落下して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	
本製品の分解・改造は絶対にしないでください。 内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。	
本製品にぶら下がらないでください。また、重い物をぶら下げないでください。 本製品が壊れて落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	
壁掛け設置やセッティングプレートの調整を行うときは、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。 プロジェクターのスライドプレート固定部にネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下して事故やけがの原因となります。	
調整後はすべてのネジを完全に締め直してください。 十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。	
設置後は、ボルト・ナットを絶対に緩めないでください。 また、定期的にネジ類の緩みがないことを確認してください。万一、緩みがあるときは、確実に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。	
ケーブルはネジやボルトを避けて配線してください。 ケーブルの取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。	

 警告	
プロジェクターの電源を入れるときは、絶対に投写窓をのぞかないでください。 強い光で目を痛めるなどの原因となります。小さなお子様のいる場所では特に注意してください。離れた場所からリモコンを使ってプロジェクターの電源を入れるときは、投写窓をのぞいている人がいないことを確認してから電源を入れてください。	
プロジェクターを使用するときは、プロジェクターの投写窓にものを置いたり、手を近づけたりしないでください。 投写光が集束するため高温になり危険です。	
プロジェクターの吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 暖房器具の付近など高温になる場所は避け、壁と排気口の間を50cm以上空けてください。	
可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。 プロジェクター内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。	
本製品に異常が発生したときは、すぐに本製品に接続しているケーブルを抜いて、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。 そのまま使用を続けると、火災・感電・視力障害の原因となります。	
 注意	
ご使用になるプロジェクター機種の使用温度範囲を超える場所には設置しないでください。 故障の原因となります。	
レンズや内部の光学部品に汚れが付着しないように、ホコリや湿気の少ないところに設置してください。	
本製品を調整するときは無理な力を加えないでください。 本製品が壊れてけがの原因となることがあります。	

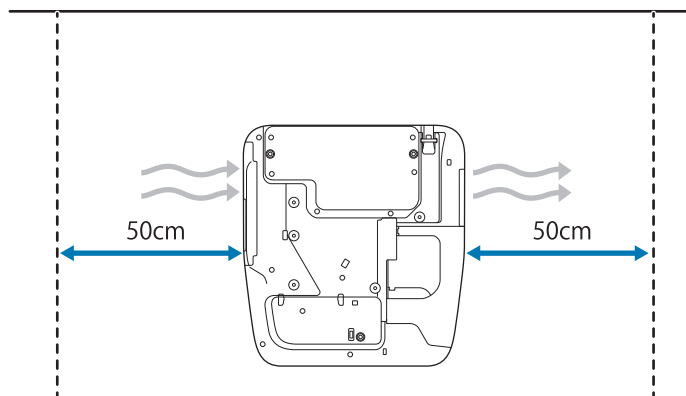
本書について

本書では、オプションのセッティングプレート（ELPMB46）を使って、超短焦点プロジェクター EB-685W/EB-680 を壁掛け設置するための手順を説明しています。

■ 設置場所について

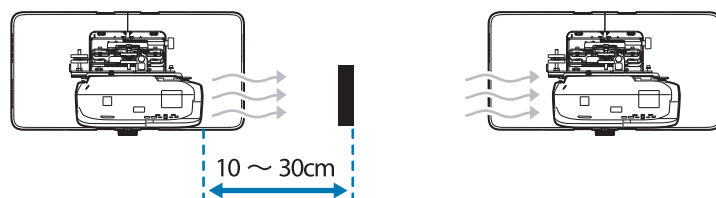
プロジェクターの設置場所

- セッティングプレートを設置する場所に、あらかじめ電源工事を済ませておいてください。
- プロジェクターを設置する場所は、蛍光灯・エアコンなど他の電気製品から離してください。蛍光灯の種類によっては、プロジェクターを操作するリモコンが誤動作することがあります。
- プロジェクターを設置するときは、プロジェクターの左右にある排気口や吸気口を壁などから約50cm以上離してください。



- 2台以上のプロジェクターを並べて設置するときは、35℃以下の環境に設置してください。

高温の環境で使用すると、プロジェクターが高温になり突然電源が切れることがあります。35℃以上の環境で使用するときは、排気口から出た熱を遮るための仕切りを取り付けます。仕切りは、排気口より一回り（縦横それぞれ約2cm）大きくし、排気口から10～30cmの位置に取り付けます。



- 外部ノイズの影響を少なくするために、パソコン等と接続するケーブルは20m以下になるようにプロジェクターを配置することをお勧めします。
- 貼付型スクリーン、またはボード型スクリーンの使用をお勧めします。
- プロジェクターの傾きが、スクリーンに対してタテ・ヨコ±3°以内になるように設置してください。

安全にお使いいただくために

安全上のご注意	1
安全に関する表示	1
記号の意味	1
設置上のご注意	1
本書について	3
設置場所について	4
プロジェクターの設置場所	4

設置工事説明書

設置の流れ	6
1台のプロジェクターを設置する	6
2台以上のプロジェクターを並べて設置する	6
同梱品一覧	7
セッティングプレート	7
仕様一覧	8
セッティングプレート	8
ウォールプレートカバー	8
ウォールプレート	9
上下スライドの調整範囲	9
水平スライドの調整範囲	10
前後スライドの調整範囲	10
アクセサリ取り付け部	11
投写距離表	12
取り付け寸法図	12
インタラクティブホワイトボード一覧 ...	14
75型未満の画面を投写する場合	15
EB-685W (16:10 投写画面)	16
EB-685W (16:9 投写画面)	17
EB-685W (4:3 投写画面)	18
EB-680 (4:3 投写画面)	19
EB-680 (16:9 投写画面)	20
EB-680 (16:10 投写画面)	21
75型以上の画面を投写する場合	22
EB-685W (16:10 投写画面)	23
EB-685W (16:9 投写画面)	24
EB-685W (4:3 投写画面)	25
EB-680 (4:3 投写画面)	26

EB-680 (16:9 投写画面)	27
EB-680 (16:10 投写画面)	28
セッティングプレートの取り付け	29
機器との接続	29
必要なケーブル	29
取り付け手順	30
各部を組み立てる	30
ウォールプレートを壁に取り付ける	32
投写距離を決めてセッティングプレート にケーブル類を通す	34
セッティングプレートをウォールプレ ートに取り付ける	36
セッティングプレートにプロジェクター を固定する	38
プロジェクターの位置調整	41
湾曲補正	47
カバー類の取り付け	49

付録

本機を複数台並べて設置する（マルチ プロジェクション）	52
マルチプロジェクション設定	52
プロジェクターID の設定	52
マルチプロジェクションの映像調整	55
一括設定機能	57
USBメモリーを使って設定する	58
設定値をUSBメモリーに保存する	58
保存した設定値を他のプロジェクターに 反映する	60
コンピューターとプロジェクターをUSBケ ーブルで接続して設定する	62
設定値をコンピューターに保存する	62
保存した設定値を他のプロジェクターに 反映する	64
設定がうまくいかないときは	65
セキュリティケーブルの取り付け ..	66
商標について	67



設置の流れ

1台の 프로젝ターを設置する

프로젝터를壁掛け設置するときは、以下の手順で行います。

- 1 セッティングプレートと 프로젝터の取り付け (☞ [p.29](#))
- 2 프로젝터の位置調整 (☞ [p.41](#))

2台以上の 프로젝터를並べて設置する

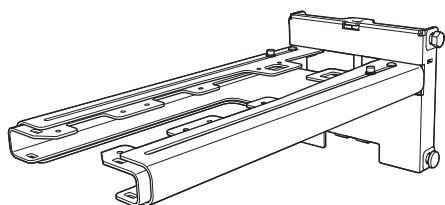
マルチ 프로젝クション機能を使う（複数台の 프로젝터를並べて1つの大きな画面を投写する）ときは、以下の手順で行います。

- 1 セッティングプレートと 프로젝터の取り付け (☞ [p.29](#))
- 2 프로젝터の位置調整 (☞ [p.41](#))
- 3 프로젝터IDの設定 (☞ [p.52](#))
- 4 マルチ 프로젝クションの映像調整 (☞ [p.55](#))

同梱品一覧

セッティングプレート

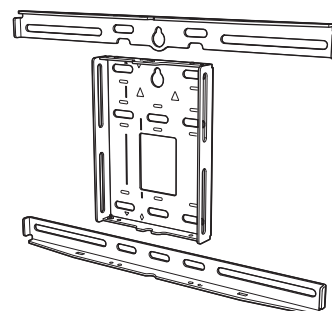
プロジェクターを壁掛け設置するには、オプションのセッティングプレート（ELPMB46）が必要です。以下の同梱品がすべて揃っていることをご確認ください。



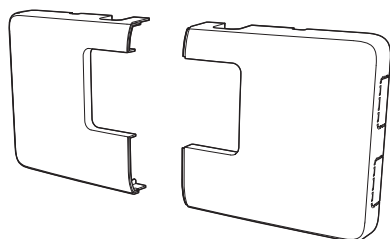
セッティングプレート



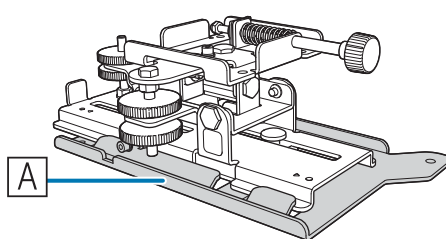
六角軸



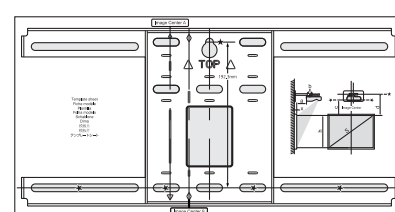
ウォールプレート



ウォールプレートカバー



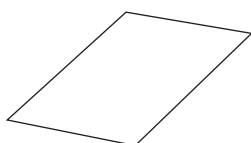
3 軸調整ユニット
※出荷時はスライドプレート
(**A**) が固定されています。



テンプレートシート
(ウォールプレート取り付け用)



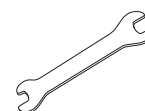
エンドキャップ



目隠しシール



六角レンチ (M4 用)



両口スパナ
呼び13 (M8、M6 用)、
呼び6 (六角軸用)

形状	名称	員数	用途
	M4 x 12mm 六角穴付きボルト ワッシャー/スプリングワッシャーあり	5本	ウォールプレート組立用
		4本	3軸調整ユニット/アーム取り付け用
		4本	スライドプレート/プロジェクター本体取り付け用
	M6 x 20mm 六角段付きボルト ワッシャー/ スプリングワッシャーあり	1本	セッティングプレート/ウォールプレート取り付け用
	M6 x 20mm 十字穴付き段付きネジ プラスチックワッシャーあり	3本	

- 金具の取り付けは、必ず本製品に同梱のボルトまたはネジを使用してください。
- ウォールプレートを壁に取り付ける際は、市販のM10 x 60mmアンカーボルト（4本以上）とM10ネジ（1本）を使用してください。
- 工具は必要に応じてご用意ください。

仕様一覧

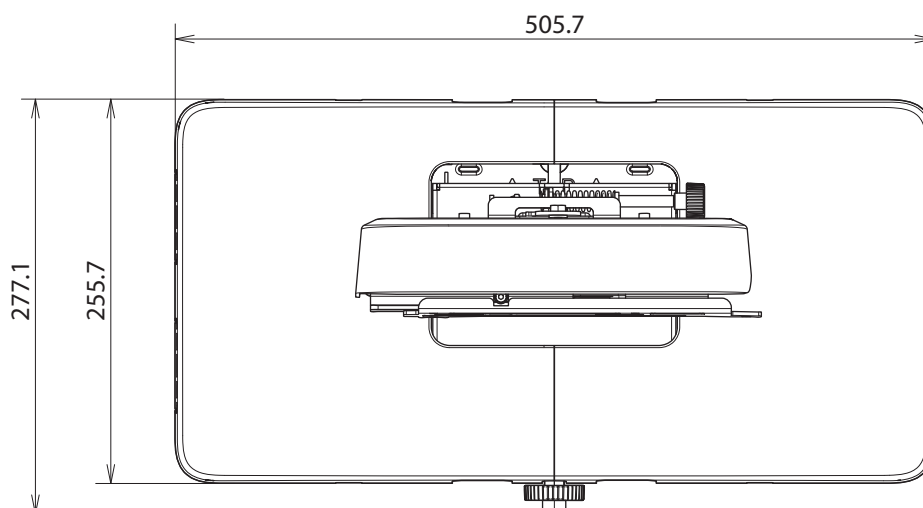
セッティングプレート

項目	仕様	備考	参照ページ
セッティングプレート質量	約7.2kg	セッティングプレート (2.9kg)、3軸調整ユニット (1.0kg)、スライドプレート (0.6kg)、ウォールプレート (2.0kg)、ウォールプレートカバー・エンドキャップ (0.7kg)	
最大荷重	9.5kg		
前後スライド調整範囲	13～350mm	アームスライド調整範囲: 0～263mm 3軸調整ユニットの取り付け位置による調整: 87mm	下図参照
上下スライド調整範囲	±38mm		下図参照
水平ロール調整範囲	±3°	調整ダイヤルによる微調整が可能	☛ p.41
水平回転調整範囲	±8°	調整ダイヤルによる微調整が可能	☛ p.41
上下チルト調整範囲	±3°	調整ダイヤルによる微調整が可能	☛ p.41
水平スライド調整範囲	±45mm		下図参照

ウォールプレートカバー

ウォールプレートカバー装着時の寸法は以下の通りです。

[単位 : mm]

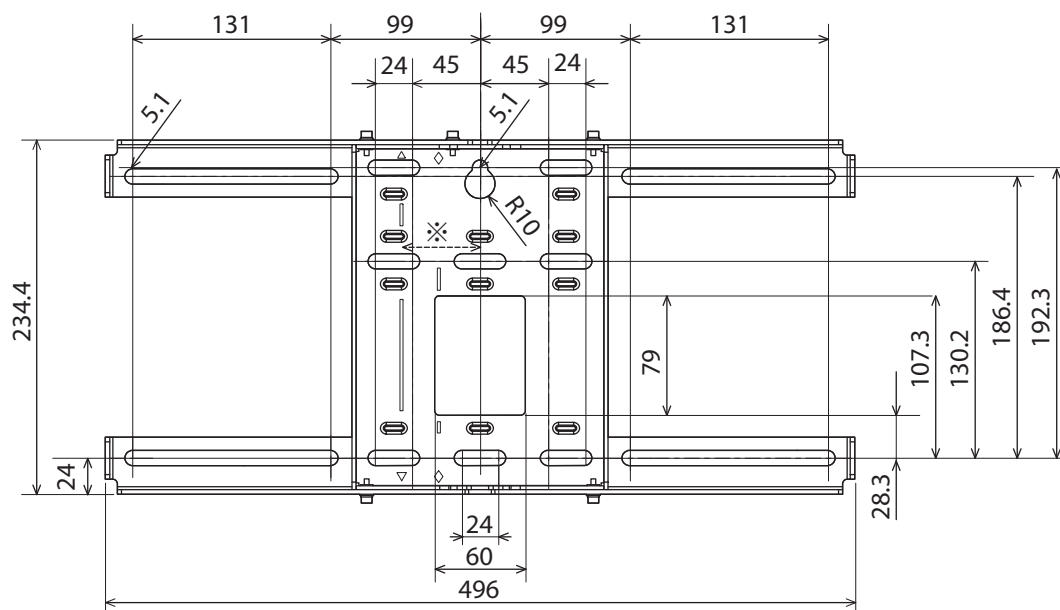


ウォールプレートカバーを取り付けるときは、ウォールプレートの中心から左に約263mm、右に約253mmのスペースが必要です。

■ ウォールプレート

下図はフレーム2本とプレートを1つにつなぎ合わせた状態です（出荷時は別々です）。

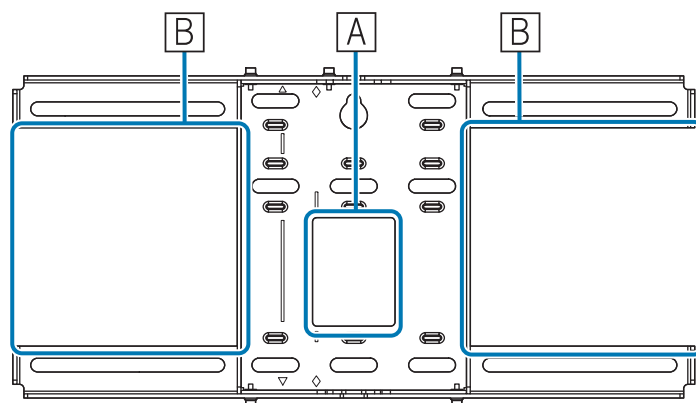
[単位：mm]



※ 投写する画面の中心位置とウォールプレートの中心位置のオフセット値は52mmです。

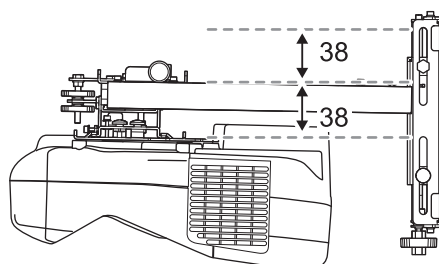
ケーブル配線穴

プロジェクターに接続するケーブルを壁の中に通すときは、下図の (A) と (B) の位置をケーブル配線穴として使用できます。



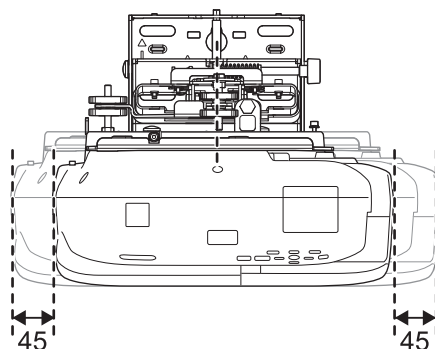
■ 上下スライドの調整範囲

[単位：mm]



■ 水平スライドの調整範囲

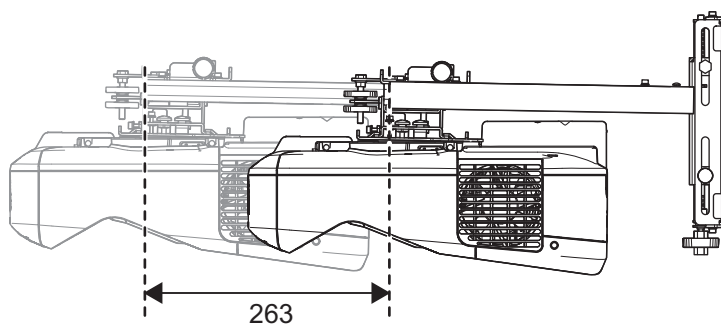
[単位 : mm]



■ 前後スライドの調整範囲

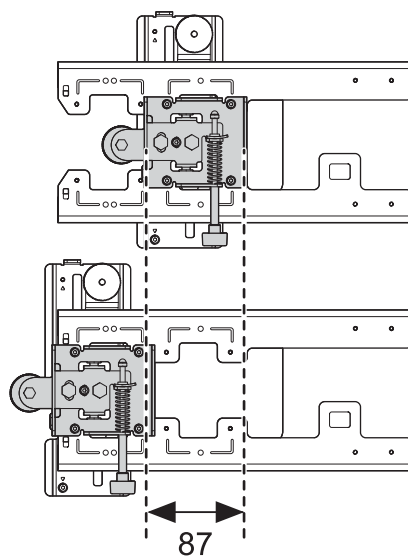
アームスライド調整範囲

[単位 : mm]



3軸調整ユニットの取り付け位置による調整範囲

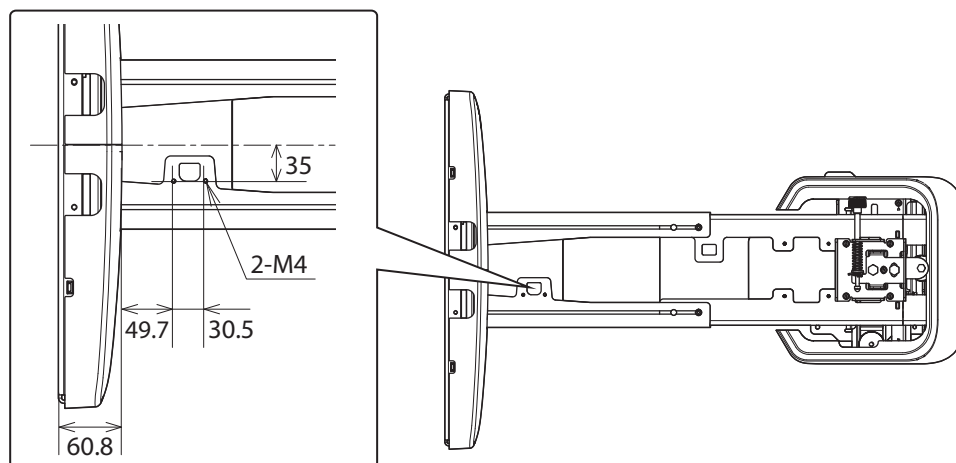
[単位 : mm]



■ アクセサリー取り付け部

外付けチューナーなどの周辺機器やアクセサリーを固定するためのネジ穴です。市販のM4ネジをお使いください。

[単位：mm]



投写距離表

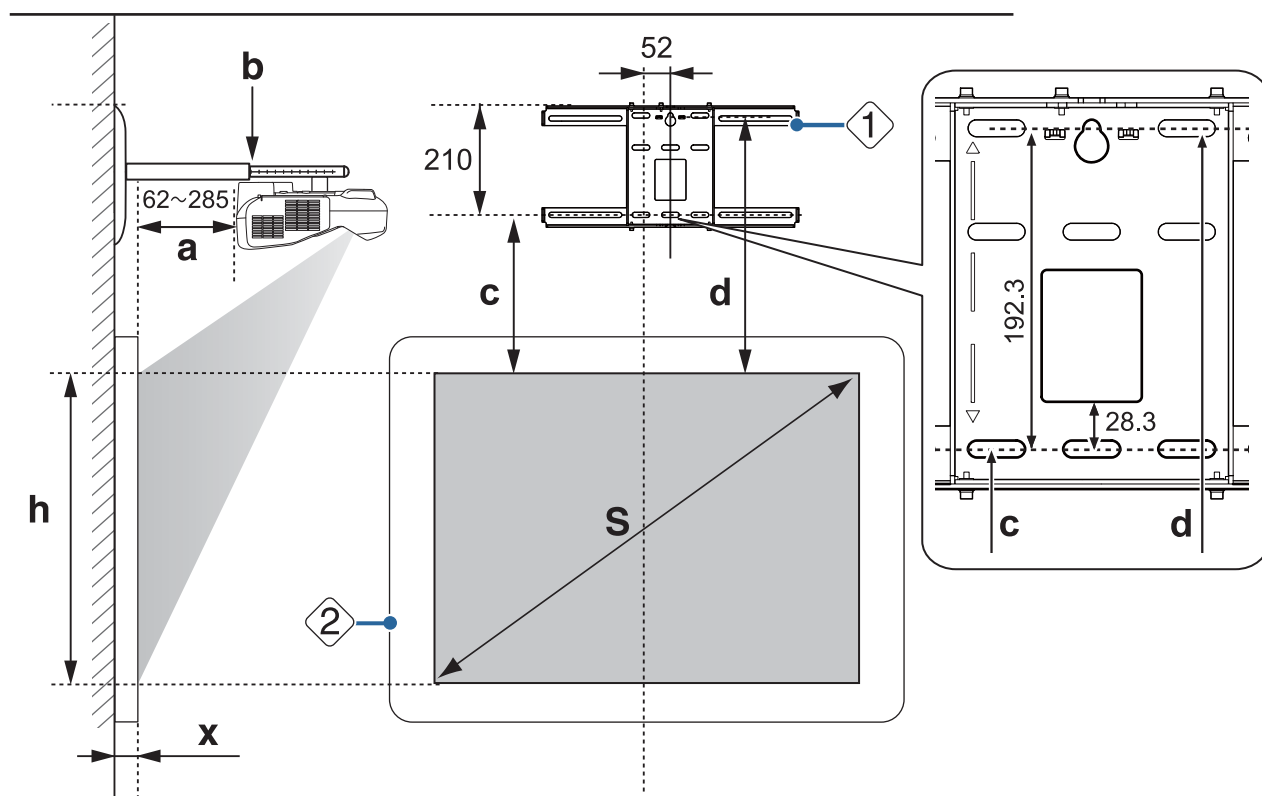
取り付け寸法図

下図を参考にして、映像が最適な大きさにスクリーンに映るように設置してください。値は目安です。
投写する距離 (a) の推奨範囲は、62～285mmです。

投写する画面の中心位置とウォールプレートの中心位置のオフセット値は52mmです。

ウォールプレート中央にあるケーブル配線穴の下端は、投写する画面上端からウォールプレート取り付けネジ穴 (下) までの距離 (c) + 28.3mmになります。

[単位 : mm]



S : 投写する画面サイズ

① : ウォールプレート

a : 投写距離最短 (ワイド : ズーム最大)
～最長 (テレ : ズーム最小)

② : スクリーン

b : アームスライドの目盛りの数値

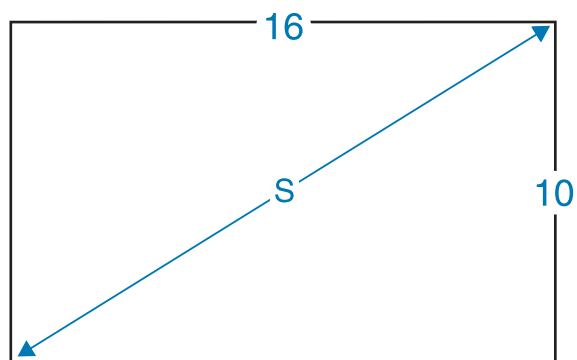
c : 投写する画面上端からウォールプレート取り付けネジ穴 (下) までの距離

d : 投写する画面上端からウォールプレート仮固定ネジ穴までの距離

h : 投写する画面の高さ

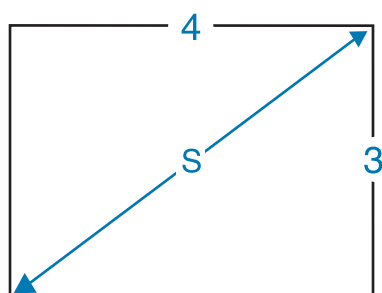
x : スクリーン表面から壁までの距離
(100mm以内)

標準投写画面の縦横比 (EB-685W)



壁に直接投写するなど (X) の値が小さい場合は、プロジェクターとウォールプレートカバーの距離が近くなるため、63インチ以下の映像が投写できないことがあります。

標準投写画面の縦横比 (EB-680)



■ インタラクティブホワイトボード一覧

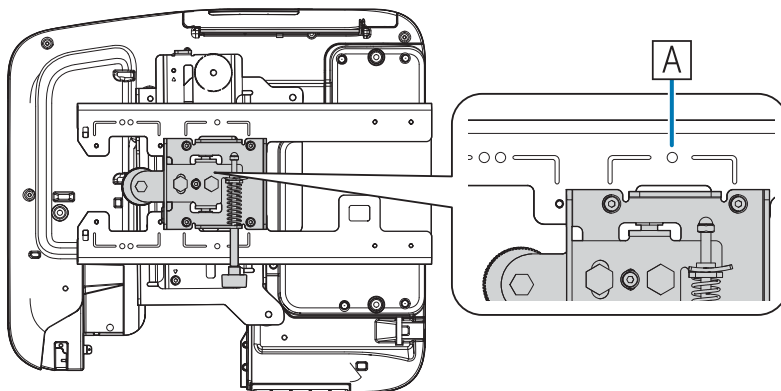
すでにインタラクティブボードを設置しているときは、以下でホワイトボードのサイズを確認してから、投写距離表を参照してください。

投写画面サイズ	16 : 10	4 : 3	16 : 9
64型	-	Promethean ActivBoard 164	-
77型	-	SMART Board® SBM680 SMART Board® X880/880-SMP	-
78型	-	Promethean ActivBoard 178 Promethean ActivBoard 578Pro Promethean ActivBoard Touch 78"	-
79型	-	Promethean ActivBoard 378Pro	-
87型	SMART Board® SBM685 SMART Board® X885/885-SMP Promethean ActivBoard 387Pro Promethean ActivBoard 587Pro	-	-
88型	Promethean ActivBoard Touch 88"	-	-
95型	-	-	Promethean ActivBoard 595Pro
97型	-	-	Promethean ActivBoard 395Pro

75型未満の画面を投写する場合

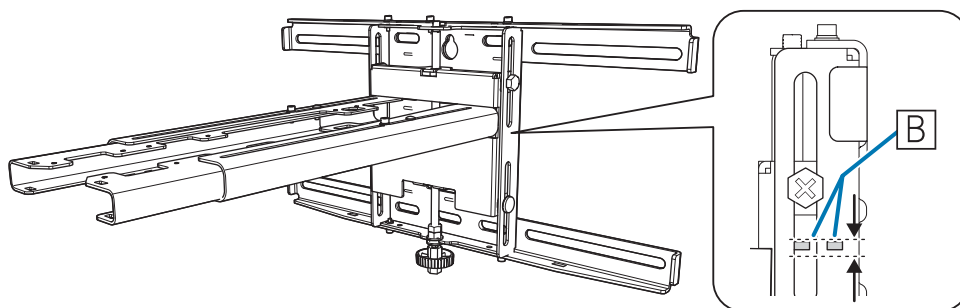
3軸調整ユニットを、○の箇所（**A**）に取り付けてください。

投写距離表は、3軸調整ユニットを○の箇所（**A**）に取り付けた場合の数値です。



投写する画面上端からウォールプレート取り付けネジ穴（下）までの距離（c）は、上下スライドを基準位置（**B**）に合わせた場合の数値です。

セッティングプレートの切り欠きとウォールプレートの刻印の位置を合わせます。



■ EB-685W (16 : 10 投写画面)

[単位 : cm]

S 投写する画面サイズ		a 投写距離 最短（ワイド）～最長（テレ）	b アームスライドの目盛りの 数値	c ウォールプレート取り付け ネジ穴（下） までの距離	d 投写する画面 上端からウォールプレート 仮固定ネジ穴 までの距離	h 投写する画面 の高さ
61型	131.4x82.1	4.4～17.6	15.1～28.3	17.8	37.0	82.1
62型	133.5x83.5	5.0～18.4	15.7～29.1	18.1	37.3	83.4
63型	135.7x84.8	5.6～19.3	16.3～30.0	18.4	37.6	84.8
64型	137.9x86.2	6.3～20.1	17.0～30.8	18.6	37.8	86.2
65型	140.0x87.5	6.9～20.9	17.6～31.6	18.9	38.1	87.5
66型	142.2x88.8	7.5～21.8	18.2～32.5	19.2	38.4	88.8
67型	144.3x90.2	8.1～22.6	18.8～33.3	19.5	38.7	90.2
68型	146.5x91.5	8.7～23.4	19.4～34.1	19.8	39.0	91.5
69型	148.6x92.9	9.3～24.3	20.0～35.0	20.0	39.2	92.9
70型	150.8x94.2	10.0～25.1	20.7～35.8	20.3	39.5	94.3
71型	152.9x95.6	10.6～25.9	21.3～36.6	20.6	39.8	95.6
72型	155.1x96.9	11.2～26.8	21.9～37.5	20.9	40.1	96.9
73型	157.2x98.3	11.8～27.6	22.5～38.3	21.2	40.4	98.2
74型	159.4x99.6	12.4～28.4	23.1～39.1	21.4	40.6	99.7

61型より小さい画面は正しく投写されません。

■ EB-685W (16 : 9投写画面)

[単位 : cm]

S 投写する画面サイズ		a 投写距離 最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	b アームスライドの目盛りの 数値	c ウォールプレート取り付け ネジ穴 (下) までの距離	d 投写する画面上端からウォールプレート 仮固定ネジ穴 までの距離	h 投写する画面の高さ
59型	130.6x73.5	4.2~17.3	14.9~28.0	21.8	41.0	73.4
60型	132.8x74.7	4.8~18.2	15.5~28.9	22.1	41.3	74.7
61型	135.0x76.0	5.5~19.0	16.2~29.7	22.5	41.7	76.0
62型	137.3x77.2	6.1~19.9	16.8~30.6	22.8	42.0	77.3
63型	139.5x78.5	6.7~20.7	17.4~31.4	23.2	42.4	78.5
64型	141.7x79.7	7.4~21.6	18.1~32.3	23.6	42.8	79.7
65型	143.9x80.9	8.0~22.4	18.7~33.1	23.9	43.1	81.0
66型	146.1x82.2	8.6~23.3	19.3~34.0	24.3	43.5	82.2
67型	148.3x83.4	9.3~24.2	20.0~34.9	24.6	43.8	83.5
68型	150.5x84.7	9.9~25.0	20.6~35.7	25.0	44.2	84.7
69型	152.8x85.9	10.5~25.9	21.2~36.6	25.3	44.5	86.0
70型	155.0x87.2	11.2~26.7	21.9~37.4	25.7	44.9	87.2
71型	157.2x88.4	11.8~27.6	22.5~38.3	26.1	45.3	88.4
72型	159.4x89.7	12.4~28.4	23.1~39.1	26.4	45.6	89.7
73型	161.6x90.9	13.1~29.3	23.8~40.0	26.8	46.0	90.9
74型	163.8x92.1	13.7~30.2	24.4~40.9	27.1	46.3	92.2

59型より小さい画面は正しく投写されません。

■ EB-685W (4:3 投写画面)

[単位: cm]

S 投写する画面サイズ		a 投写距離 最短（ワイド）～最長（テレ）	b アームスライドの目盛りの 数値	c ウォールプレート取り付け ネジ穴（下） までの距離	d 投写する画面 上端からウォールプレート 仮固定ネジ穴 までの距離	h 投写する画面 の高さ
54型	109.7x82.3	4.5～17.7	15.2～28.4	17.8	37.0	82.3
55型	111.8x83.8	5.2～18.7	15.9～29.4	18.1	37.3	83.9
56型	113.8x85.3	5.9～19.6	16.6～30.3	18.5	37.7	85.3
57型	115.8x86.9	6.6～20.5	17.3～31.2	18.8	38.0	86.9
58型	117.9x88.4	7.3～21.5	18.0～32.2	19.1	38.3	88.4
59型	119.9x89.9	8.0～22.4	18.7～33.1	19.4	38.6	89.9
60型	121.9x91.4	8.7～23.4	19.4～34.1	19.7	38.9	91.5
61型	124.0x93.0	9.4～24.3	20.1～35.0	20.1	39.3	92.9
62型	126.0x94.5	10.1～25.3	20.8～36.0	20.4	39.6	94.5
63型	128.0x96.0	10.8～26.2	21.5～36.9	20.7	39.9	96.0
64型	130.0x97.5	11.5～27.2	22.2～37.9	21.0	40.2	97.5
65型	132.1x99.1	12.2～28.1	22.9～38.8	21.3	40.5	99.1
66型	134.1x100. 6	12.9～29.0	23.6～39.7	21.6	40.8	100.6
67型	136.1x102. 1	13.6～30.0	24.3～40.7	22.0	41.2	102.1
68型	138.2x103. 6	14.3～30.9	25.0～41.6	22.3	41.5	103.6
69型	140.2x105. 2	15.0～31.2	25.7～41.9	22.6	41.8	105.2
70型	142.2x106. 7	15.7～31.2	26.4～41.9	22.9	42.1	106.7
71型	144.3x108. 2	16.4～31.2	27.1～41.9	23.2	42.4	108.2
72型	146.3x109. 7	17.1～31.2	27.8～41.9	23.5	42.7	109.8
73型	148.3x111. 3	17.8～31.2	28.5～41.9	23.9	43.1	111.2
74型	150.4x112. 8	18.5～31.2	29.2～41.9	24.2	43.4	112.8

54型より小さい画面は正しく投写されません。

■ EB-680 (4 : 3 投写画面)

[単位 : cm]

S 投写する画面サイズ		a 投写距離 最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	b アームスライドの目盛りの 数値	c ウォールプレート取り付け ネジ穴 (下) までの距離	d 投写する画面上端からウォールプレート 仮固定ネジ穴 までの距離	h 投写する画面の高さ
60型	121.9x91.4	6.8~20.7	17.5~31.4	16.3	35.5	91.4
61型	124.0x93.0	7.4~21.6	18.1~32.3	16.6	35.8	92.9
62型	126.0x94.5	8.1~22.5	18.8~33.2	16.8	36.0	94.5
63型	128.0x96.0	8.8~23.4	19.5~34.1	17.1	36.3	96.0
64型	130.0x97.5	9.4~24.3	20.1~35.0	17.3	36.5	97.6
65型	132.1x99.1	10.1~25.2	20.8~35.9	17.6	36.8	99.1
66型	134.1x100.6	10.7~26.0	21.4~36.7	17.9	37.1	100.5
67型	136.1x102.1	11.4~26.9	22.1~37.6	18.1	37.3	102.1
68型	138.2x103.6	12.1~27.8	22.8~38.5	18.4	37.6	103.6
69型	140.2x105.2	12.7~28.7	23.4~39.4	18.6	37.8	105.2
70型	142.2x106.7	13.4~29.6	24.1~40.3	18.9	38.1	106.7
71型	144.3x108.2	14.1~30.5	24.8~41.2	19.2	38.4	108.2
72型	146.3x109.7	14.7~31.2	25.4~41.9	19.4	38.6	109.8
73型	148.3x111.3	15.4~31.2	26.1~41.9	19.7	38.9	111.2
74型	150.4x112.8	16.0~31.2	26.7~41.9	19.9	39.1	112.8

60型より小さい画面は正しく投写されません。

■ EB-680（16：9投写画面）

[単位：cm]

S 投写する画面サイズ		a 投写距離 最短（ワイド）～最長（テレ）	b アームスライドの目盛りの 数値	c ウォールプレート取り付け ネジ穴（下） までの距離	d 投写する画面 上端からウォールプレート 仮固定ネジ穴 までの距離	h 投写する画面 の高さ
55型	121.8x68.5	6.7～20.6	17.4～31.3	27.7	46.9	68.5
56型	124.0x69.7	7.4～21.6	18.1～32.3	28.2	47.4	69.7
57型	126.2x71.0	8.2～22.6	18.9～33.3	28.7	47.9	71.0
58型	128.4x72.2	8.9～23.5	19.6～34.2	29.2	48.4	72.2
59型	130.6x73.5	9.6～24.5	20.3～35.2	29.7	48.9	73.4
60型	132.8x74.7	10.3～25.5	21.0～36.2	30.2	49.4	74.7
61型	135.0x76.0	11.0～26.5	21.7～37.2	30.6	49.8	76.0
62型	137.3x77.2	11.8～27.4	22.5～38.1	31.1	50.3	77.2
63型	139.5x78.5	12.5～28.4	23.2～39.1	31.6	50.8	78.5
64型	141.7x79.7	13.2～29.4	23.9～40.1	32.1	51.3	79.7
65型	143.9x80.9	13.9～30.4	24.6～41.1	32.6	51.8	80.9
66型	146.1x82.2	14.7～31.2	25.4～41.9	33.1	52.3	82.2
67型	148.3x83.4	15.4～31.2	26.1～41.9	33.6	52.8	83.4
68型	150.5x84.7	16.1～31.2	26.8～41.9	34.1	53.3	84.7
69型	152.8x85.9	16.8～31.2	27.5～41.9	34.6	53.8	85.9
70型	155.0x87.2	17.5～31.2	28.2～41.9	35.1	54.3	87.1
71型	157.2x88.4	18.3～31.2	29.0～41.9	35.6	54.8	88.4
72型	159.4x89.7	19.0～31.2	29.7～41.9	36.0	55.2	89.7
73型	161.6x90.9	19.7～31.2	30.4～41.9	36.5	55.7	90.9
74型	163.8x92.1	20.4～31.2	31.1～41.9	37.0	56.2	92.2

55型より小さい画面は正しく投写されません。

■ EB-680 (16 : 10投写画面)

[単位 : cm]

S 投写する画面サイズ		a 投写距離 最短（ワイド）～最長（テレ）	b アームスライドの目盛りの数値	c ウォールプレート取り付けネジ穴（下）までの距離	d 投写する画面上端からウォールプレート仮固定ネジ穴までの距離	h 投写する画面の高さ
56型	120.6x75.4	6.3～20.1	15.0～28.8	23.7	42.9	75.4
57型	122.8x76.7	7.0～21.1	15.7～29.8	24.1	43.3	76.7
58型	124.9x78.1	7.7～22.0	16.4～30.7	24.5	43.7	78.1
59型	127.1x79.4	8.4～23.0	17.1～31.7	24.9	44.1	79.4
60型	129.2x80.8	9.2～23.9	17.9～32.6	25.3	44.5	80.8
61型	131.4x82.1	9.9～24.8	18.6～33.5	25.7	44.9	82.1
62型	133.5x83.5	10.6～25.8	19.3～34.5	26.1	45.3	83.5
63型	135.7x84.8	11.3～26.7	20.0～35.4	26.5	45.7	84.9
64型	137.9x86.2	12.0～27.7	20.7～36.4	27.0	46.2	86.1
65型	140.0x87.5	12.7～28.6	21.4～37.3	27.4	46.6	87.5
66型	142.2x88.8	13.4～29.6	22.1～38.3	27.8	47.0	88.8
67型	144.3x90.2	14.1～30.5	22.8～39.2	28.2	47.4	90.2
68型	146.5x91.5	14.8～31.5	23.5～40.2	28.6	47.8	91.5
69型	148.6x92.9	15.5～32.4	24.2～41.1	29.0	48.2	92.9
70型	150.8x94.2	16.2～33.2	24.9～41.9	29.4	48.6	94.3
71型	152.9x95.6	16.9～33.2	25.6～41.9	29.8	49.0	95.6
72型	155.1x96.9	17.6～33.2	26.3～41.9	30.2	49.4	97.0
73型	157.2x98.3	18.3～33.2	27.0～41.9	30.7	49.9	98.2
74型	159.4x99.6	19.0～33.2	27.7～41.9	31.1	50.3	99.6

56型より小さい画面は正しく投写されません。

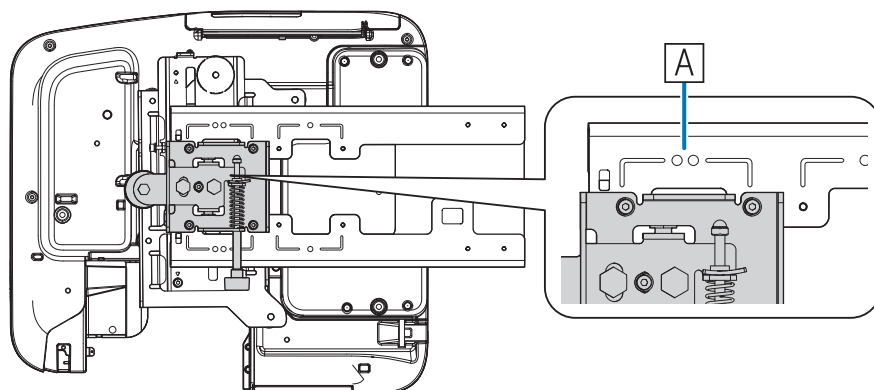


- 値は目安です。設置する場所の条件により、値に差異が生じることがあります。
- テレで投写すると、画質が劣化することがあります。
- EB-685Wを使用して4:3の映像を投写すると、リサイズにより画質が劣化することがあります。

75型以上の画面を投写する場合

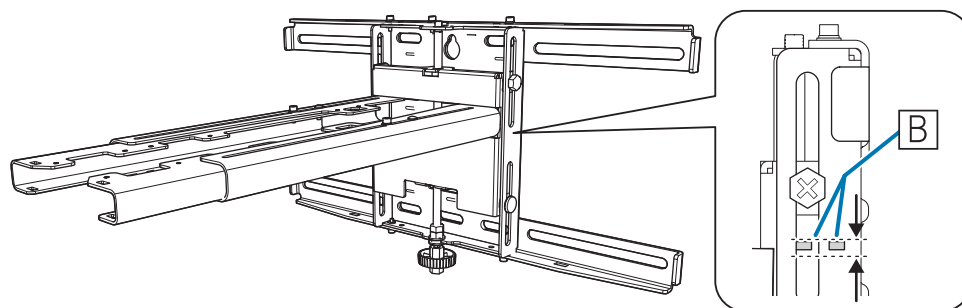
3軸調整ユニットを、○○の箇所（**A**）に取り付けてください。

投写距離表は、3軸調整ユニットを○○の箇所（**A**）に取り付けた場合の数値です。



投写する画面上端からウォールプレート取り付けネジ穴（下）までの距離（c）は、上下スライドを基準位置（**B**）に合わせた場合の数値です。

セッティングプレートの切り欠きとウォールプレートの刻印の位置を合わせます。



■ EB-685W (16 : 10 投写画面)

[単位 : cm]

S 投写する画面サイズ		a 投写距離 最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	b アームスライドの目盛りの 数値	c ウォールプレート取り付け ネジ穴 (下) までの距離	d 投写する画面上端からウォールプレート 仮固定ネジ穴までの距離	h 投写する画面の高さ
75型	161.5x101.0	13.1~29.3	15.1~31.3	21.7	40.9	101.0
76型	163.7x102.3	13.7~30.1	15.7~32.1	22.0	41.2	102.3
77型	165.9x103.7	14.3~30.9	16.3~32.9	22.3	41.5	103.6
78型	168.0x105.0	14.9~31.8	16.9~33.8	22.6	41.8	105.0
79型	170.2x106.3	15.5~32.6	17.5~34.6	22.8	42.0	106.4
80型	172.3x107.7	16.1~33.5	18.1~35.5	23.1	42.3	107.7
81型	174.5x109.0	16.8~34.3	18.8~36.3	23.4	42.6	109.0
82型	176.6x110.4	17.4~35.1	19.4~37.1	23.7	42.9	110.4
83型	178.8x111.7	18.0~36.0	20.0~38.0	24.0	43.2	111.7
84型	180.9x113.1	18.6~36.8	20.6~38.8	24.2	43.4	113.1
85型	183.1x114.4	19.2~37.6	21.2~39.6	24.5	43.7	114.5
86型	185.2x115.8	19.9~38.5	21.9~40.5	24.8	44.0	115.8
87型	187.4x117.1	20.5~39.3	22.5~41.3	25.1	44.3	117.1
88型	189.5x118.5	21.1~39.9	23.1~41.9	25.4	44.6	118.4
89型	191.7x119.8	21.7~39.9	23.7~41.9	25.6	44.8	119.9
90型	193.9x121.2	22.3~39.9	24.3~41.9	25.9	45.1	121.2
91型	196.0x122.5	22.9~39.9	24.9~41.9	26.2	45.4	122.5
92型	198.2x123.9	23.6~39.9	25.6~41.9	26.5	45.7	123.8
93型	200.3x125.2	24.2~39.9	26.2~41.9	26.8	46.0	125.2
94型	202.5x126.5	24.8~39.9	26.8~41.9	27.1	46.3	126.5
95型	204.6x127.9	25.4~39.9	27.4~41.9	27.3	46.5	127.9
96型	206.8x129.2	26.0~39.9	28.0~41.9	27.6	46.8	129.2
97型	208.9x130.6	26.7~39.9	28.7~41.9	27.9	47.1	130.6
98型	211.1x131.9	27.3~39.9	29.3~41.9	28.2	47.4	131.9
99型	213.2x133.3	27.9~39.9	29.9~41.9	28.5	47.7	133.2

99 型より大きい画面は正しく投写されません。

■ EB-685W (16 : 9 投写画面)

[単位 : cm]

S 投写する画面サイズ		a 投写距離 最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	b アームスライドの目盛りの 数値	c ウォールプレート取り付け ネジ穴 (下) までの距離	d 投写する画面上端からウォールプレート 仮固定ネジ穴までの距離	h 投写する画面の高さ
75型	166.0x93.4	14.3~31.0	16.3~33.0	27.5	46.7	93.4
76型	168.2x94.6	15.0~31.9	17.0~33.9	27.9	47.1	94.6
77型	170.5x95.9	15.6~32.7	17.6~34.7	28.2	47.4	95.9
78型	172.7x97.1	16.3~33.6	18.3~35.6	28.6	47.8	97.1
79型	174.9x98.4	16.9~34.5	18.9~36.5	28.9	48.1	98.4
80型	177.1x99.6	17.5~35.3	19.5~37.3	29.3	48.5	99.6
81型	179.3x100.9	18.2~36.2	20.2~38.2	29.6	48.8	100.9
82型	181.5x102.1	18.8~37.0	20.8~39.0	30.0	49.2	102.1
83型	183.7x103.4	19.4~37.9	21.4~39.9	30.4	49.6	103.3
84型	186.0x104.6	20.1~38.7	22.1~40.7	30.7	49.9	104.6
85型	188.2x105.8	20.7~39.6	22.7~41.6	31.1	50.3	105.8
86型	190.4x107.1	21.3~39.9	23.3~41.9	31.4	50.6	107.1
87型	192.6x108.3	22.0~39.9	24.0~41.9	31.8	51.0	108.3
88型	194.8x109.6	22.6~39.9	24.6~41.9	32.1	51.3	109.6
89型	197.0x110.8	23.2~39.9	25.2~41.9	32.5	51.7	110.8
90型	199.2x112.1	23.9~39.9	25.9~41.9	32.9	52.1	112.0
91型	201.5x113.3	24.5~39.9	26.5~41.9	33.2	52.4	113.3
92型	203.7x114.6	25.1~39.9	27.1~41.9	33.6	52.8	114.5
93型	205.9x115.8	25.8~39.9	27.8~41.9	33.9	53.1	115.8
94型	208.1x117.1	26.4~39.9	28.4~41.9	34.3	53.5	117.0
95型	210.3x118.3	27.0~39.9	29.0~41.9	34.6	53.8	118.3
96型	212.5x119.5	27.7~39.9	29.7~41.9	35.0	54.2	119.5
97型	214.7x120.8	28.3~39.9	30.3~41.9	35.4	54.6	120.8

97型より大きい画面は正しく投写されません。

■ EB-685W (4 : 3投写画面)

[単位 : cm]

S 投写する画面サイズ		a 投写距離 最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	b アームスライドの目盛りの 数値	c ウォールプレート取り付け ネジ穴 (下) までの距離	d 投写する画面上端からウォールプレート 仮固定ネジ穴までの距離	h 投写する画面の高さ
75型	152.4x114.3	19.2~37.5	21.2~39.5	24.5	43.7	114.3
76型	154.4x115.8	19.9~38.5	21.9~40.5	24.8	44.0	115.8
77型	156.5x117.3	20.6~39.4	22.6~41.4	25.1	44.3	117.4
78型	158.5x118.9	21.3~39.9	23.3~41.9	25.5	44.7	118.8
79型	160.5x120.4	22.0~39.9	24.0~41.9	25.8	45.0	120.4
80型	162.6x121.9	22.7~39.9	24.7~41.9	26.1	45.3	121.9
81型	164.6x123.4	23.4~39.9	25.4~41.9	26.4	45.6	123.4
82型	166.6x125.0	24.1~39.9	26.1~41.9	26.7	45.9	125.0
83型	168.7x126.5	24.8~39.9	26.8~41.9	27.0	46.2	126.5
84型	170.7x128.0	25.5~39.9	27.5~41.9	27.4	46.6	128.0
85型	172.7x129.5	26.2~39.9	28.2~41.9	27.7	46.9	129.5
86型	174.8x131.1	26.9~39.9	28.9~41.9	28.0	47.2	131.1
87型	176.8x132.6	27.6~39.9	29.6~41.9	28.3	47.5	132.6
88型	178.8x134.1	28.3~39.9	30.3~41.9	28.6	47.8	134.1

88型より大きい画面は正しく投写されません。

■ EB-680 (4 : 3 投写画面)

[単位 : cm]

S 投写する画面サイズ		a 投写距離 最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	b アームスライドの目盛りの 数値	c ウォールプレート取り付け ネジ穴 (下) までの距離	d 投写する画面上端からウォールプレート 仮固定ネジ穴までの距離	h 投写する画面の高さ
75型	152.4x114.3	16.7~34.1	18.7~36.1	20.2	39.4	114.3
76型	154.4x115.8	17.4~35.0	19.4~37.0	20.5	39.7	115.8
77型	156.5x117.3	18.0~35.9	20.0~37.9	20.7	39.9	117.4
78型	158.5x118.9	18.7~36.8	20.7~38.8	21.0	40.2	118.9
79型	160.5x120.4	19.4~37.7	21.4~39.7	21.2	40.4	120.4
80型	162.6x121.9	20.0~38.6	22.0~40.6	21.5	40.7	121.9
81型	164.6x123.4	20.7~39.5	22.7~41.5	21.8	41.0	123.4
82型	166.6x125.0	21.3~39.9	23.3~41.9	22.0	41.2	125.0
83型	168.7x126.5	22.0~39.9	24.0~41.9	22.3	41.5	126.5
84型	170.7x128.0	22.7~39.9	24.7~41.9	22.5	41.7	128.1
85型	172.7x129.5	23.3~39.9	25.3~41.9	22.8	42.0	129.5
86型	174.8x131.1	24.0~39.9	26.0~41.9	23.1	42.3	131.0
87型	176.8x132.6	24.7~39.9	26.7~41.9	23.3	42.5	132.6
88型	178.8x134.1	25.3~39.9	27.3~41.9	23.6	42.8	134.1
89型	180.8x135.6	26.0~39.9	28.0~41.9	23.9	43.1	135.6
90型	182.9x137.2	26.6~39.9	28.6~41.9	24.1	43.3	137.2
91型	184.9x138.7	27.3~39.9	29.3~41.9	24.4	43.6	138.7
92型	186.9x140.2	28.0~39.9	30.0~41.9	24.6	43.8	140.2
93型	189.0x141.7	28.6~39.9	30.6~41.9	24.9	44.1	141.7
94型	191.0x143.2	29.3~39.9	31.3~41.9	25.2	44.4	143.2

94型より大きい画面は正しく投写されません。

■ EB-680 (16 : 9投写画面)

[単位 : cm]

S 投写する画面サイズ		a 投写距離 最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	b アームスライドの目盛りの 数値	c ウォールプレート取り付け ネジ穴 (下) までの距離	d 投写する画面上端からウォールプレート 仮固定ネジ穴 までの距離	h 投写する画面の高さ
75型	166.0x93.4	21.2~31.2	23.2~41.9	37.5	56.7	93.4
76型	168.2x94.6	21.9~31.2	23.9~41.9	38.0	57.2	94.7
77型	170.5x95.9	22.6~31.2	24.6~41.9	38.5	57.7	95.9
78型	172.7x97.1	23.3~31.2	25.3~41.9	39.0	58.2	97.2
79型	174.9x98.4	24.0~31.2	26.0~41.9	39.5	58.7	98.4
80型	177.1x99.6	24.8~31.2	26.8~41.9	40.0	59.2	99.6
81型	179.3x100.9	25.5~31.2	27.5~41.9	40.5	59.7	100.9
82型	181.5x102.1	26.2~31.2	28.2~41.9	41.0	60.2	102.1
83型	183.7x103.4	26.9~31.2	28.9~41.9	41.4	60.6	103.5
84型	186.0x104.6	27.6~31.2	29.6~41.9	41.9	61.1	104.6
85型	188.2x105.8	28.4~31.2	30.4~41.9	42.4	61.6	105.9
86型	190.4x107.1	29.1~31.2	31.1~41.9	42.9	62.1	107.2
87型	192.6x108.3	29.8~31.2	31.8~41.9	43.4	62.6	108.4

87型より大きい画面は正しく投写されません。

■ EB-680 (16 : 10投写画面)

[単位 : cm]

S 投写する画面サイズ		a 投写距離 最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	b アームスライドの目盛りの 数値	c ウォールプレート取り付け ネジ穴 (下) までの距離	d 投写する画面上端からウォールプレート 仮固定ネジ穴 までの距離	h 投写する画面の高さ
75型	161.5x101.0	19.7~38.1	21.7~40.1	31.5	50.7	100.9
76型	163.7x102.3	20.4~39.1	22.4~41.1	31.9	51.1	102.3
77型	165.9x103.7	21.1~39.9	23.1~41.9	32.3	51.5	103.7
78型	168.0x105.0	21.8~39.9	23.8~41.9	32.7	51.9	105.0
79型	170.2x106.3	22.5~39.9	24.5~41.9	33.1	52.3	106.4
80型	172.3x107.7	23.2~39.9	25.2~41.9	33.5	52.7	107.7
81型	174.5x109.0	23.9~39.9	25.9~41.9	33.9	53.1	109.1
82型	176.6x110.4	24.6~39.9	26.6~41.9	34.3	53.5	110.4
83型	178.8x111.7	25.3~39.9	27.3~41.9	34.8	54.0	111.7
84型	180.9x113.1	26.0~39.9	28.0~41.9	35.2	54.4	113.0
85型	183.1x114.4	26.7~39.9	28.7~41.9	35.6	54.8	114.4
86型	185.2x115.8	27.4~39.9	29.4~41.9	36.0	55.2	115.8
87型	187.4x117.1	28.1~39.9	30.1~41.9	36.4	55.6	117.1
88型	189.5x118.5	28.8~39.9	30.8~41.9	36.8	56.0	118.5
89型	191.7x119.8	29.5~39.9	31.5~41.9	37.2	56.4	119.8

89型より大きい画面は正しく投写されません。



- 値は目安です。設置する場所の条件により、値に差異が生じることがあります。
- テレで投写すると、画質が劣化することがあります。
- EB-685Wを使用して4:3 の映像を投写すると、リサイズにより画質が劣化することがあります。

■ セッティングプレートの取り付け

機器との接続

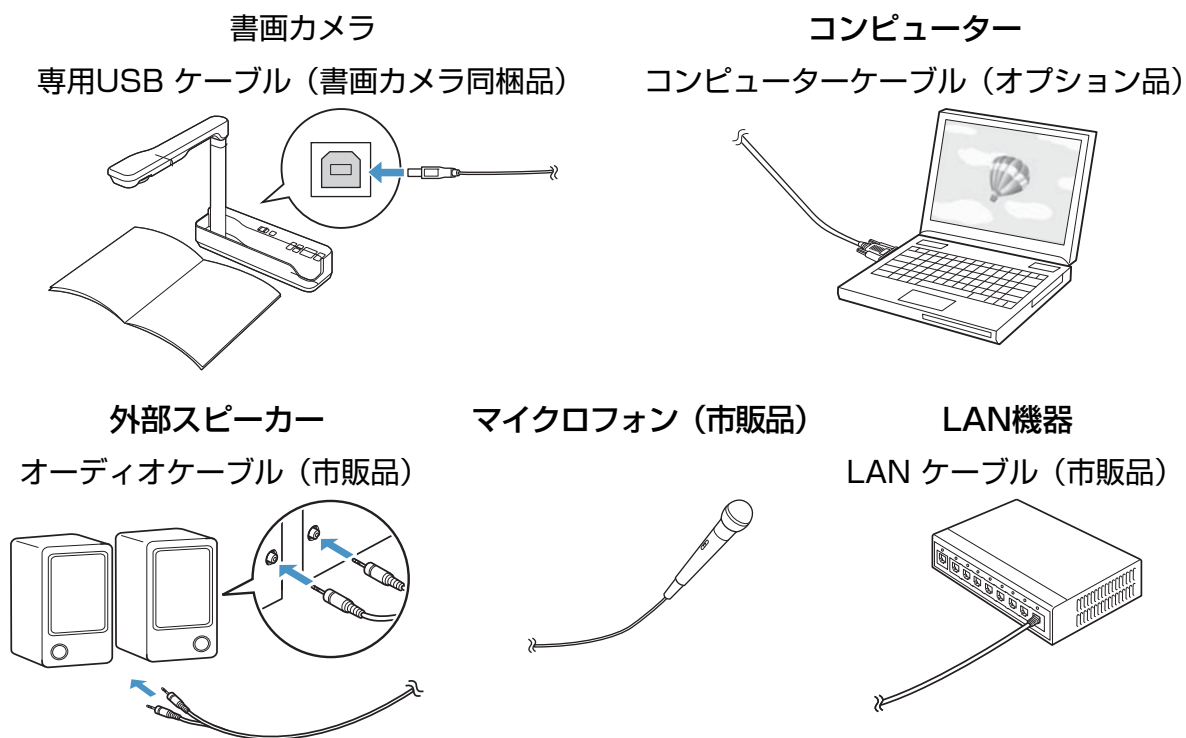
■ 必要なケーブル

使用する機器に応じて必要なケーブルを用意します。

- 同梱の電源コード（必須）
- オプションのコンピューターケーブルなど、その他のケーブル（接続する機器に応じて用意する）

詳細は、プロジェクターの『取扱説明書』（Document CD-ROM内）をご覧ください。

接続する機器に応じて用意するケーブル（一例）



取り付け手順

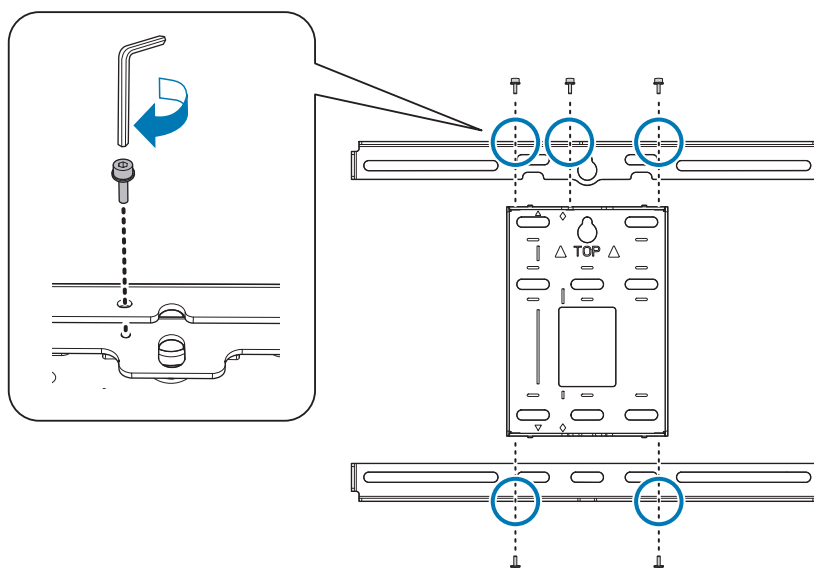
セッティングプレートは、必ず以下の手順に沿って設置してください。手順どおりに設置しないと製品が落下し、大変危険です。

警告

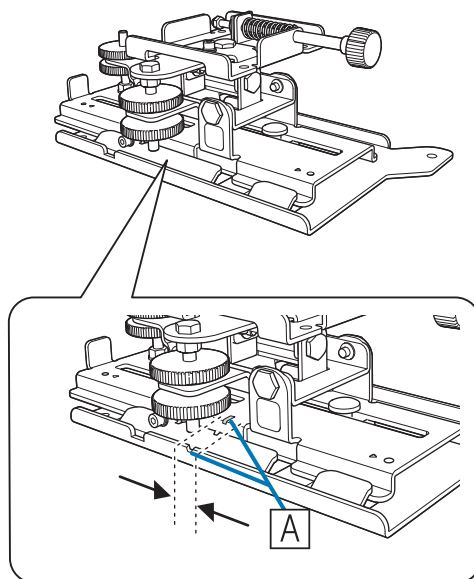
壁掛け設置やセッティングプレートの調整を行うときは、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。プロジェクターのスライドプレート固定部にネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下して事故やけがの原因となります。

■ 各部を組み立てる

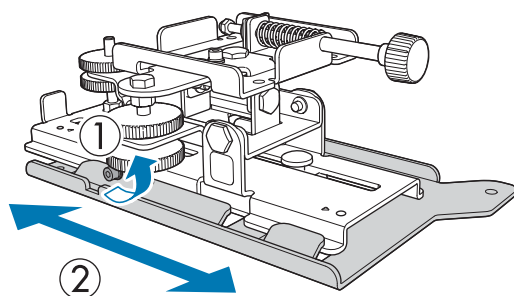
- 1 プレートとフレーム（2枚）をつなぎ合わせ、同梱のM4 x 12mmボルト（5本）で固定する



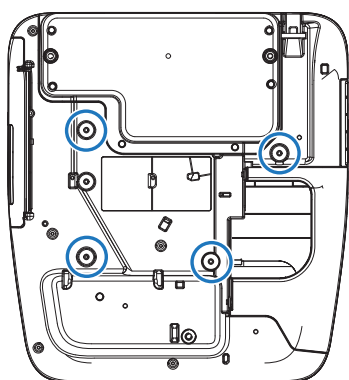
2 3 軸調整ユニットとスライドプレートの基準位置 (A) が合っているか確認する。



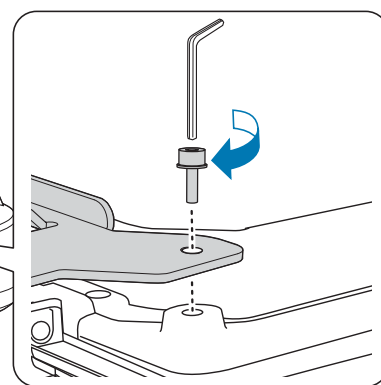
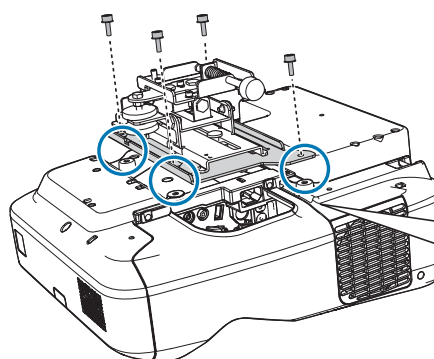
基準位置 (A) が合っていないときは、M4ボルトを緩めてからスライドプレートの位置を調整します。調整が終わったら、ボルトを締め直します。



3 同梱のM4 x 12mmボルト (4本) で、3 軸調整ユニットとスライドプレートをプロジェクターの底面に固定する



ボルトを取り付ける位置



■ ウォールプレートを取り付ける

1 投写する画面サイズと、投写する位置を決める

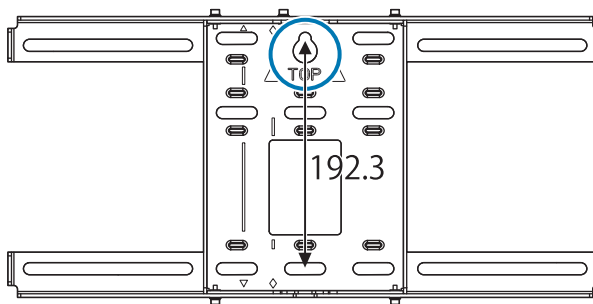
投写距離表で以下の数値を確認してください。

- 投写する画面サイズ (S)
- 投写する画面上端からウォールプレート取り付けネジ穴 (下) までの距離 (c)
- 投写する画面上端からウォールプレート仮止め用ネジ穴までの距離 (d)

🖱️ 「投写距離表」 [p.12](#)

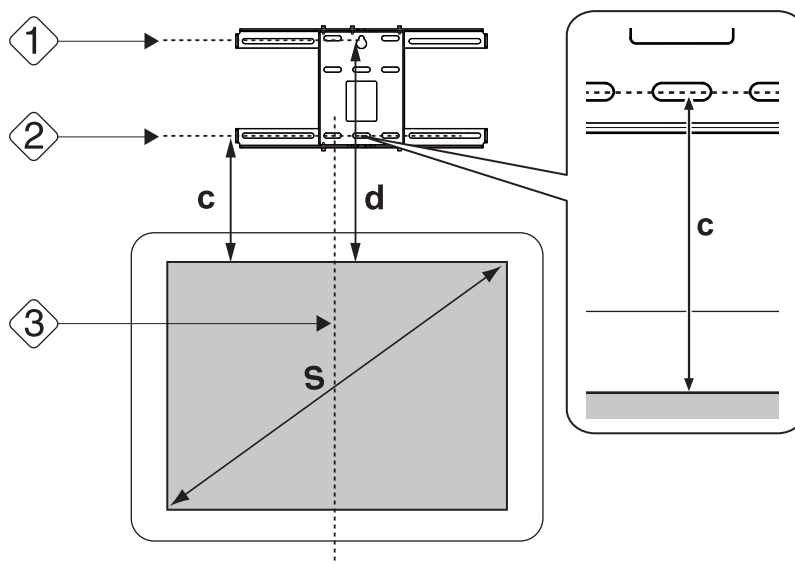


下図のネジ穴は、ウォールプレートの仮止め用ネジ穴として使います。ウォールプレート取り付けネジ穴 (下) から仮止め用ネジ穴までの距離は192.3mmです。



以下の位置に印をつけることをお勧めします。ウォールプレートの取り付け位置を決める基準になります。

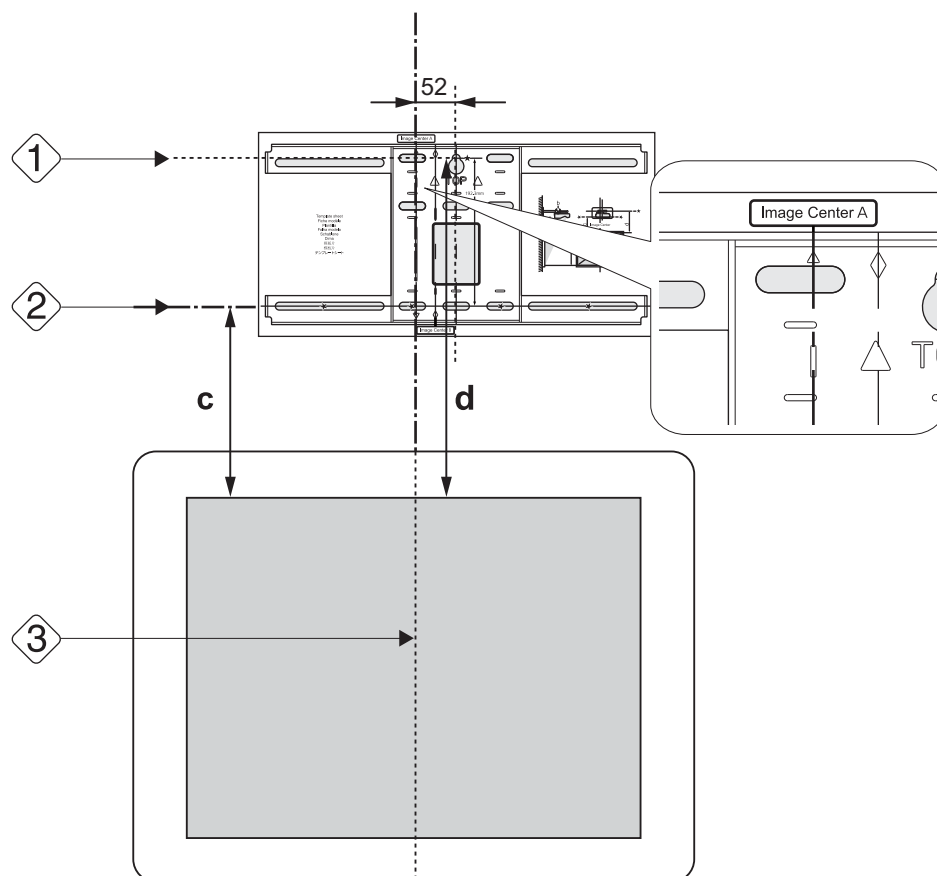
- 仮止め用ネジ穴の位置 (①)
- ウォールプレート取り付けネジ穴 (下) の位置 (②)
- 投写する画面の中心線 (③)



2 テンプレートシートを壁に貼る

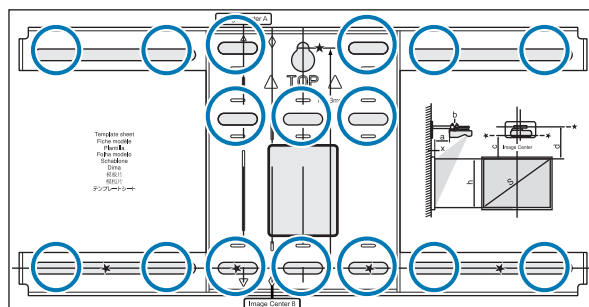
- 手順1で確認した中心線（③）とテンプレートシートのImage Center Aのラインを合わせます。
壁の中のハリの状況を確認し、必要に応じて左右位置をずらします。
（水平方向の許容シフト位置は投写する画面の中心線から左右最大45mmまで）
- 手順1で確認した高さ（①）と（②）に、テンプレートシートの★のラインをそれぞれ合わせます。

[単位：mm]



- ## 3 ウォールプレートの仮止め用ネジ穴の位置に市販のM10ネジを打つ
- 壁とネジ頭部の間を6mm以上空けてください。

- ## 4 ウォールプレートの取り付け穴をあける位置を決める
- 下図のネジ穴の中から、バランスがとれる4箇所以上を固定してください。



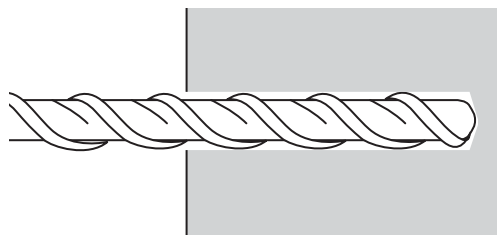
5

ドリルで壁に穴をあける

ドリル径：10.5mm

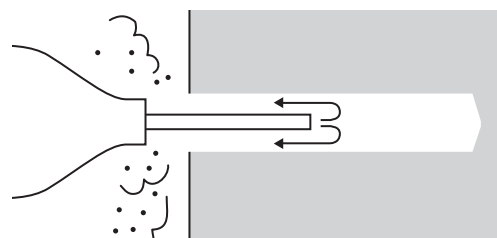
下穴深さ：45mm

埋込深さ：40mm



6

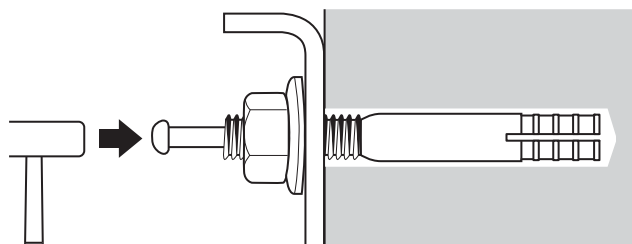
テンプレートシートを取り外し、ダストポンプなどで穴の中のコンクリート粉を取り除く



7

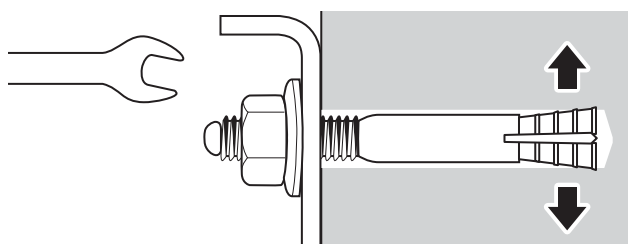
壁にウォールプレートを設置して、市販のM10×60mmアンカーボルトを穴に入れる

ナットを付けて、芯棒がアンカーボルト本体の頂部に接するまでハンマーなどでたたきます。



8

市販のスパナでナットを締めて、ウォールプレートに壁に固定する



■ 投写距離を決めてセッティングプレートにケーブル類を通す

1

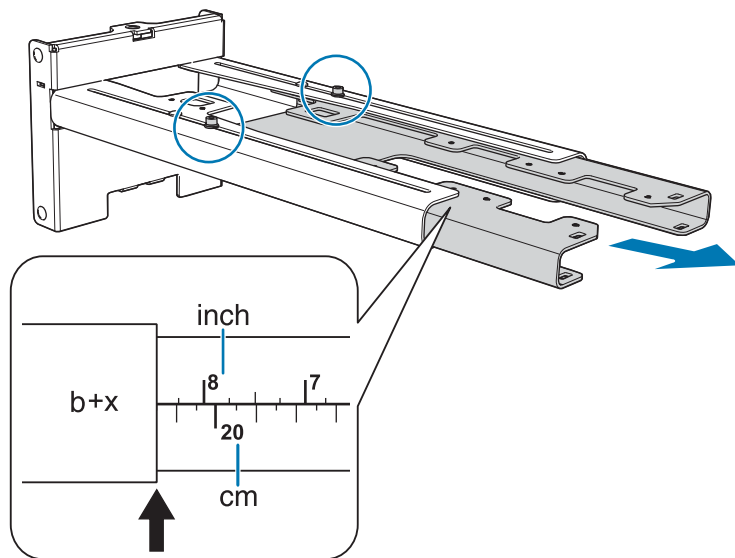
投写距離表で以下の数値を確認する

- ・アームスライドの目盛りの数値 (b)
- ・スクリーン表面から壁までの距離 (x)

👁 「投写距離表」 [p.12](#)

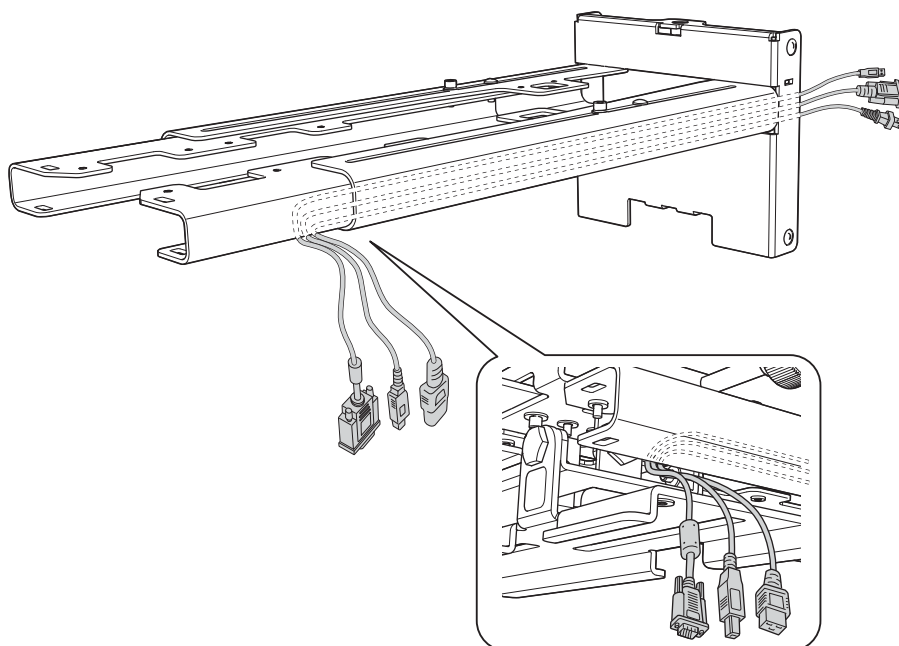
2 M4 x 12mmボルト（2本）を緩めてから、セッティングプレートのアームスライドを引き出す

手順1で確認した（b）と（x）の合計距離をスライダーの目盛りに合わせます。



3 必要なケーブル類をセッティングプレート内に通す

下図を参考にして、プロジェクターに接続するケーブルの端子がプロジェクターのインターフェース側に出るように通してください。

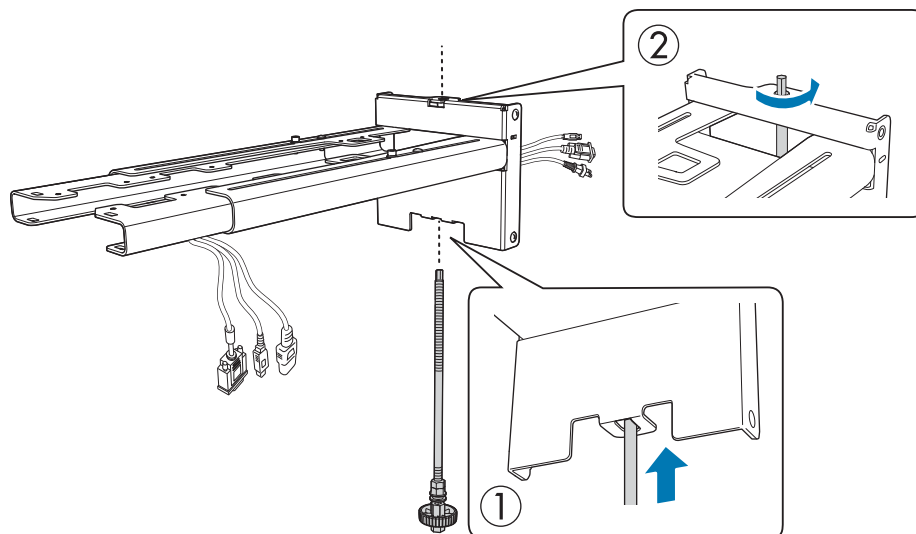


⚠ 警告

余ったケーブルをセッティングプレートの上に乗せないでください。落下事故の原因となります。

■ セッティングプレートウォールプレートに取り付ける

1 六角軸をセッティングプレートに差し込む

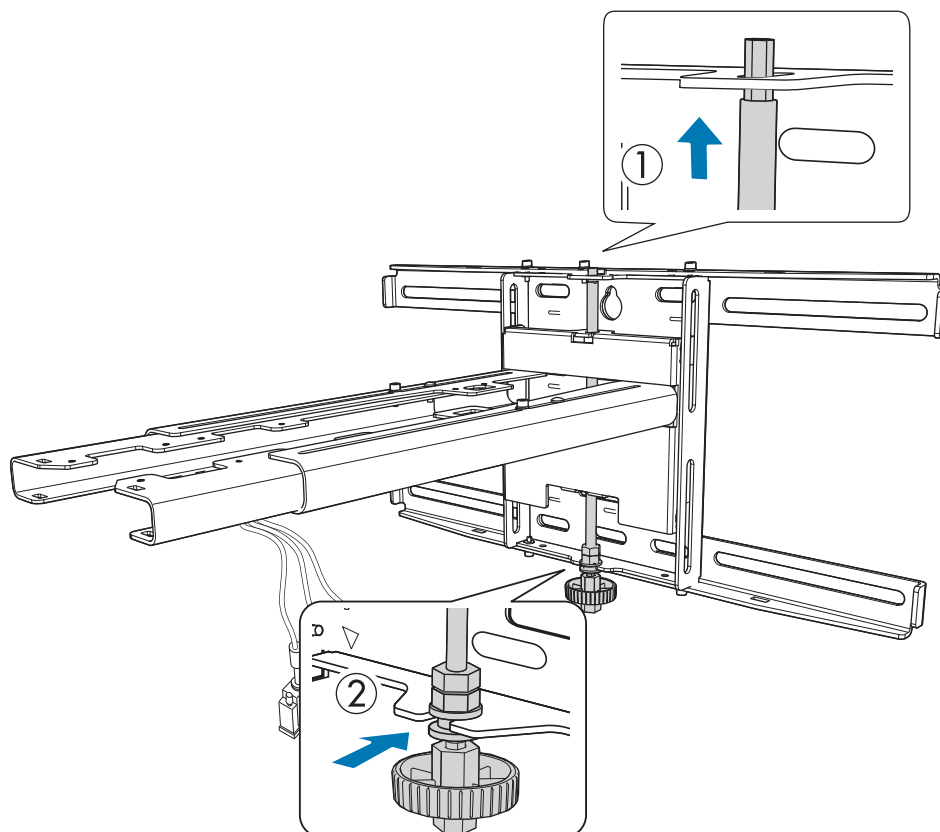


2 セッティングプレートウォールプレートにセットする

六角軸の上部をウォールプレートに差し込んでから、下部を差し込みます。

⚠ 注意

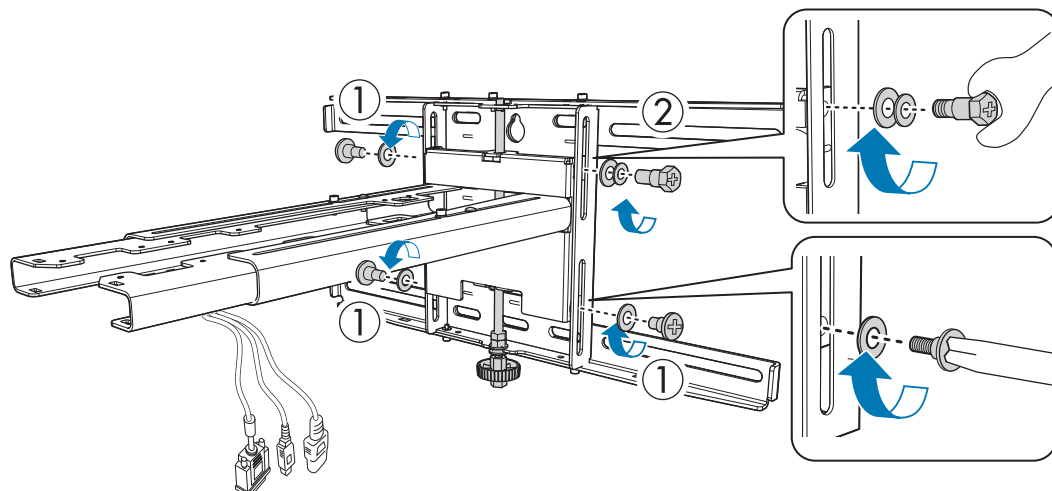
セッティングプレートとウォールプレートの間にケーブル類を挟まないように注意してください。



3

セッティングプレートとウォールプレートを固定する

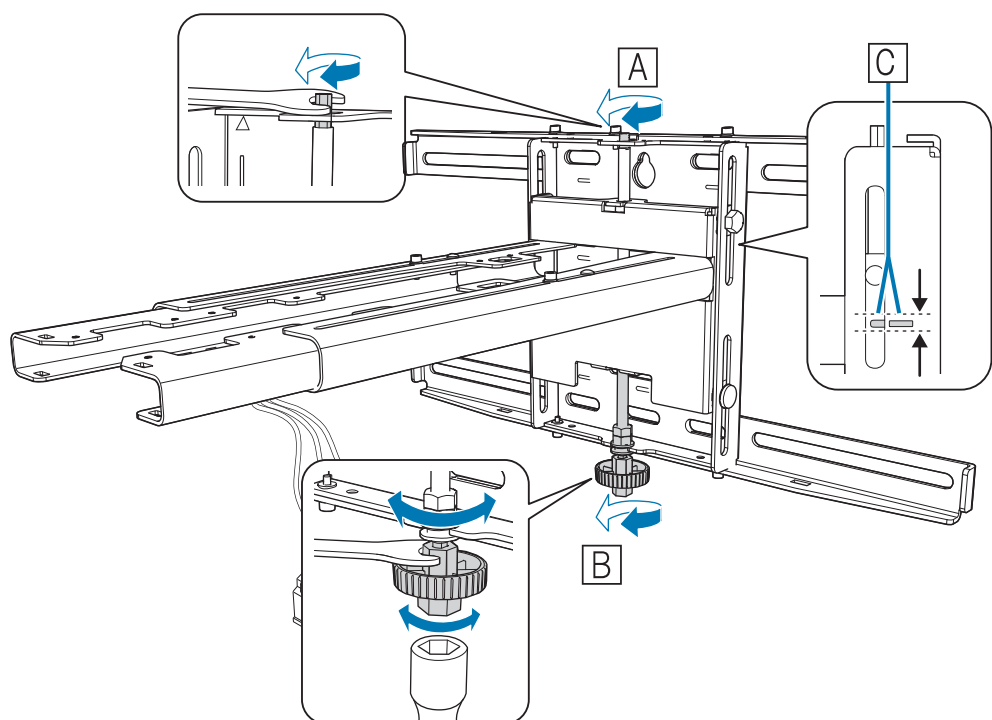
同梱のM6ネジ（3本）を市販のNo.3のプラスドライバーで固定してから、同梱のM6ボルト（1本）をスパナで軽く締めます。



4

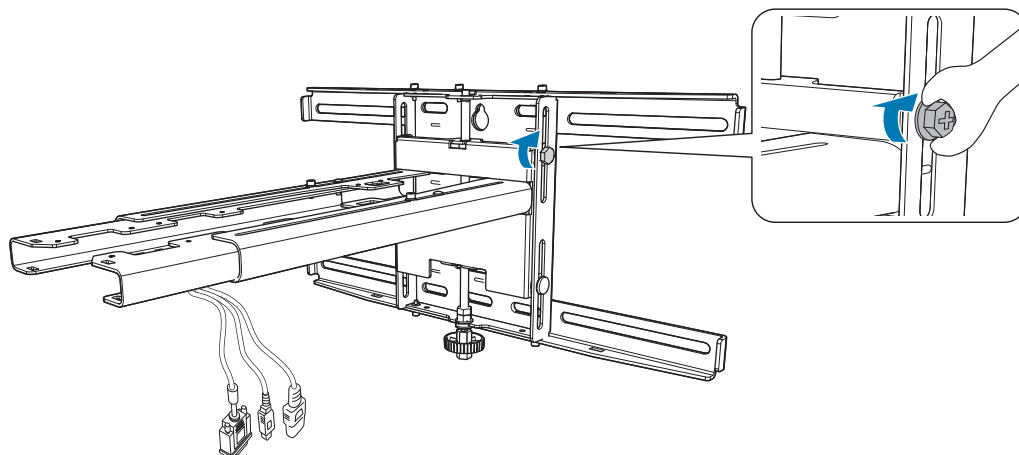
上下スライドを両口スパナで調整して、基準位置（C）に合わせる

- 上部の六角軸（A）を締めるとセッティングプレートが上がり、緩めると下がります。
- 下部のM8ボルト（B）を締めるとセッティングプレートが下がり、緩めると上がります。（17mmのソケットレンチも使用できます。）



5

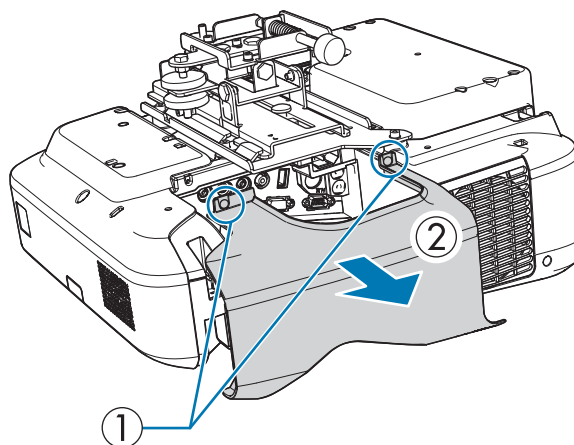
M6ボルト（1本）を締めて、セッティングプレートの位置を固定する



■ セッティングプレートにプロジェクターを固定する

1

ネジ（2本）を緩め、プロジェクターからケーブルカバーを取り外す

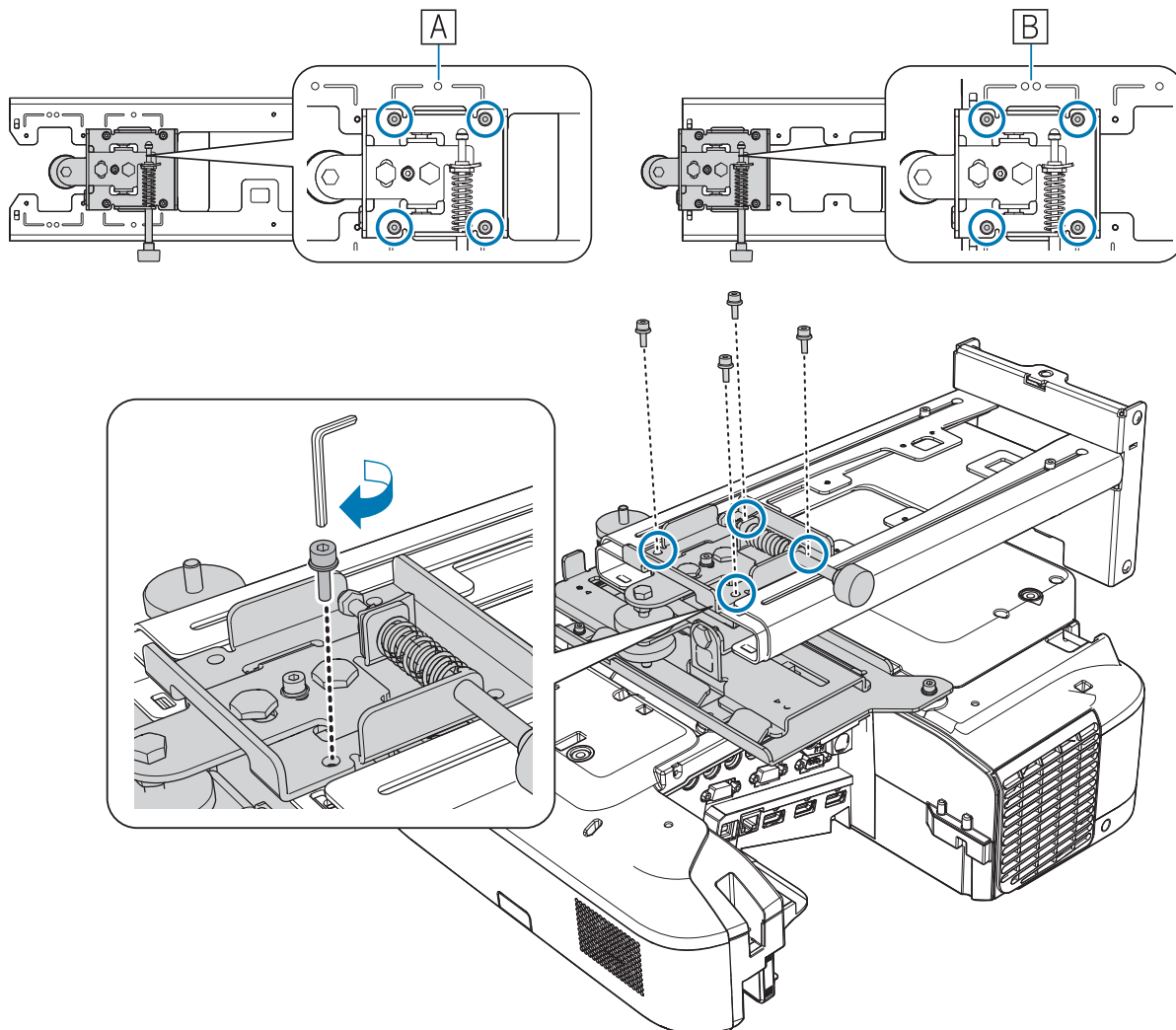


2 同梱のM4 x 12mmボルト（4本）で、3軸調整ユニットをセッティングプレートに取り付ける

- 75型未満の画面を投写する場合：○の箇所（**A**）に取り付けます。
- 75型以上の画面を投写する場合：○○の箇所（**B**）に取り付けます。

○：75型未満

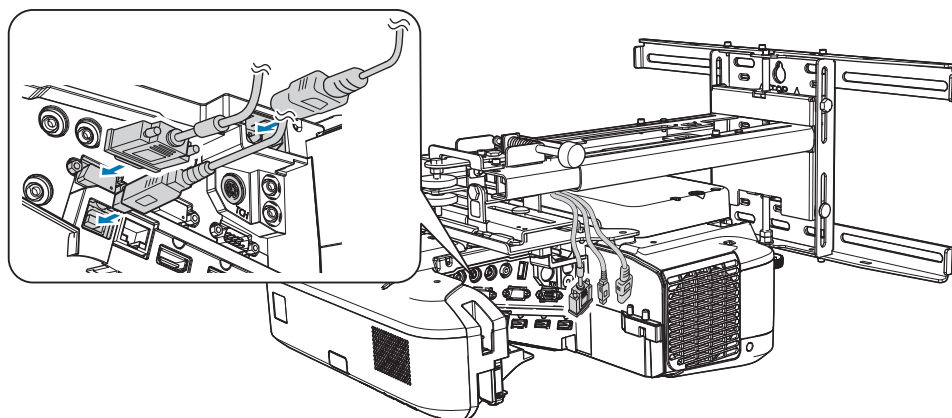
○○：75型以上



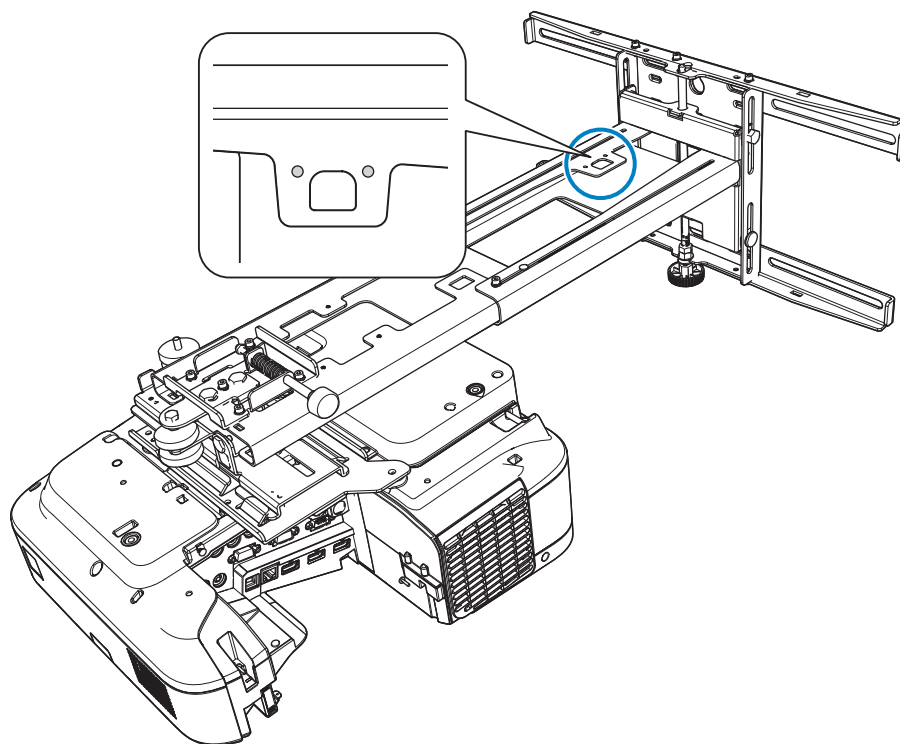
3

ケーブル類をプロジェクターに接続する

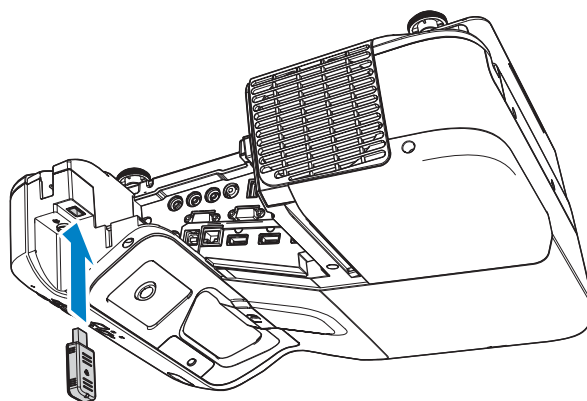
電源コードは最後に接続してください。



外付けチューナーなどの周辺機器やアクセサリは、下図のネジ穴に市販のM4ネジで固定します。



オプション品の無線LANユニットは、無線LANユニット装着部に取り付けます。

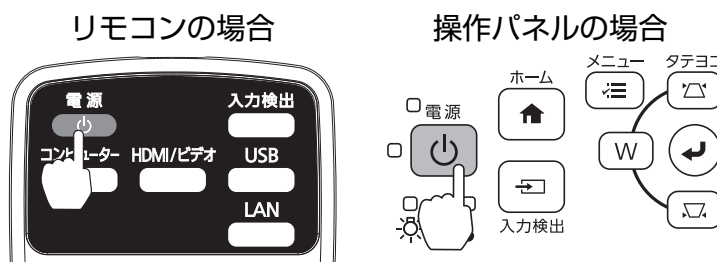


プロジェクターの位置調整

- ・プロジェクターの台形補正機能では調整しないでください。画質が悪くなる可能性があります。
- ・本機を2台以上設置する場合に、一括設定機能を使って設定を行うときは、投写画面を調整する前に行ってください。

☛ 「一括設定機能」 [p.57](#)

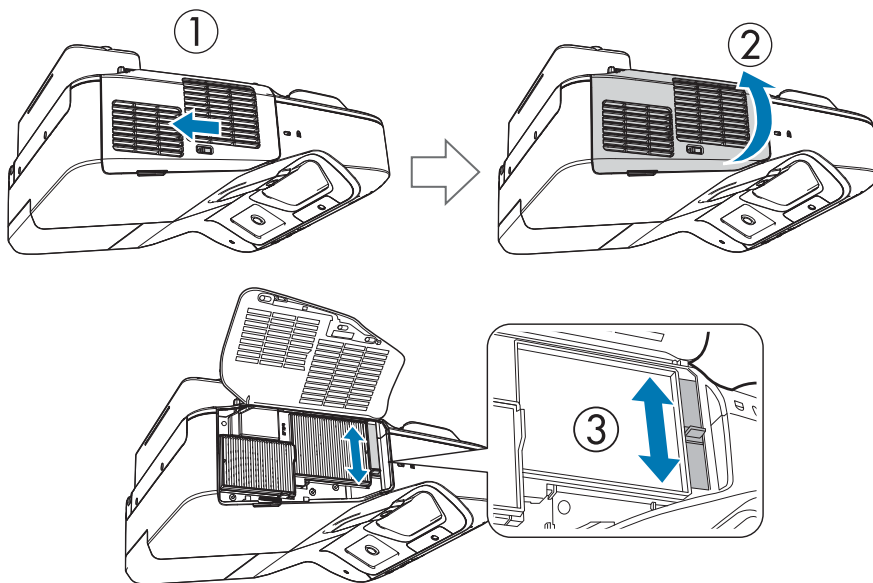
1 リモコンまたは操作パネルの【電源】ボタンを押して、プロジェクターの電源を入れる



⚠ 注意

投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置いたりしないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。

2 エアフィルターカバーを開けて、フォーカスレバーで大まかにピントを合わせる



ピントの微調整は後で行います。

調整が終了したら、エアフィルターカバーを閉じます。



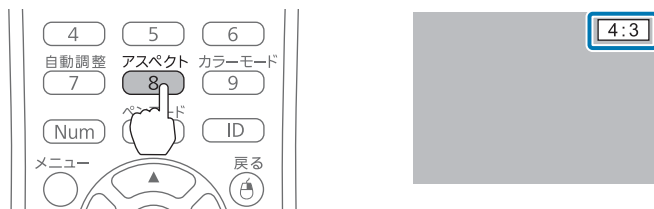
〔拡張設定〕メニューの〔言語〕からメニューの表示言語を切り替えられます。

☛ プロジェクターの『取扱説明書』 - プロジェクターメニュー

3 投写画面のアスペクト比を切り替える（必要な場合のみ）

接続機器からの映像を投写して、リモコンの【アスペクト】ボタンを押します。
押すたびに画面上にアスペクト名が表示され、アスペクト比が切り替わります。

リモコンの場合

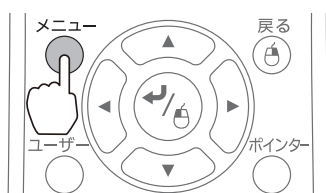


- 投写する機器との接続方法、映像の投写方法は『かんたん操作ガイド』をご覧ください。
- 接続機器からの映像が投写されていないときはアスペクト比は切り替えられません。
- [映像] メニューの [アスペクト] からアスペクト比を切り替えられます。

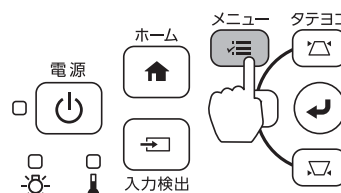
🖱 プロジェクターの『取扱説明書』 - プロジェクターメニュー

4 プロジェクターの【メニュー】ボタンを押す。

リモコンの場合



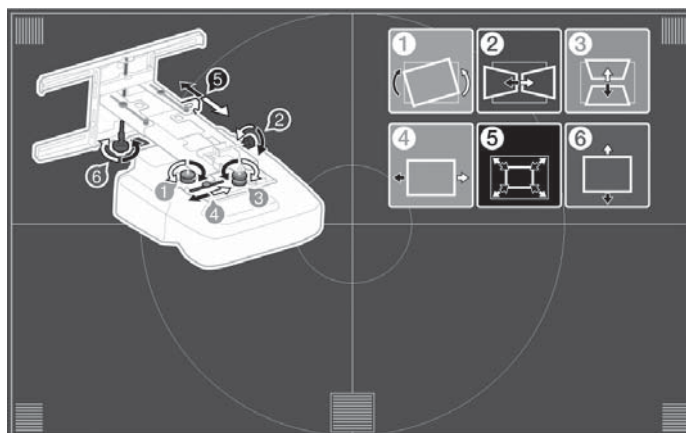
操作パネルの場合



5 [設定] から [設置ガイド] を選択する

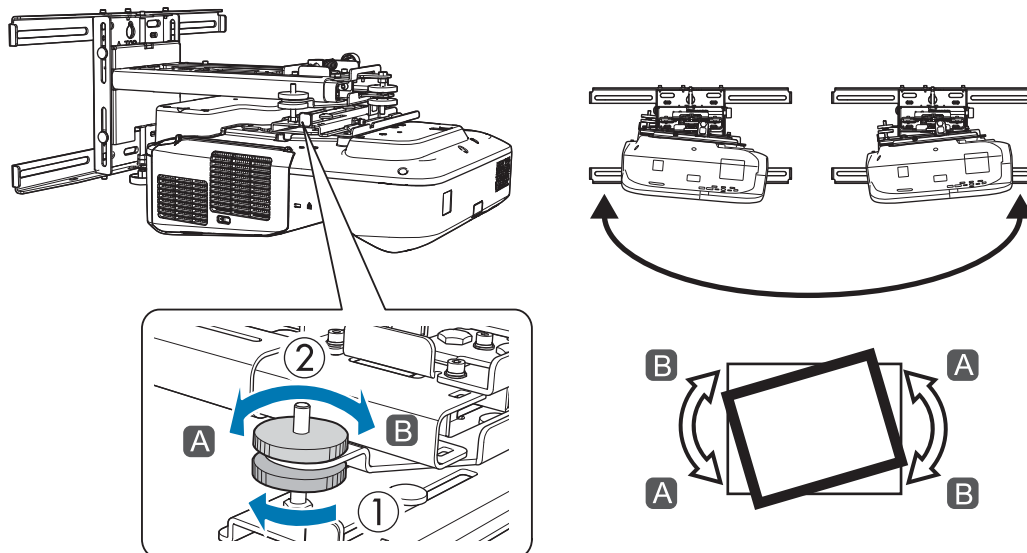
EB-685Wをお使いの場合は、アスペクト比の選択画面が表示されます。投写する画面に応じて [16:10] または [4:3] を選択してください。

ガイド画面が表示されます。



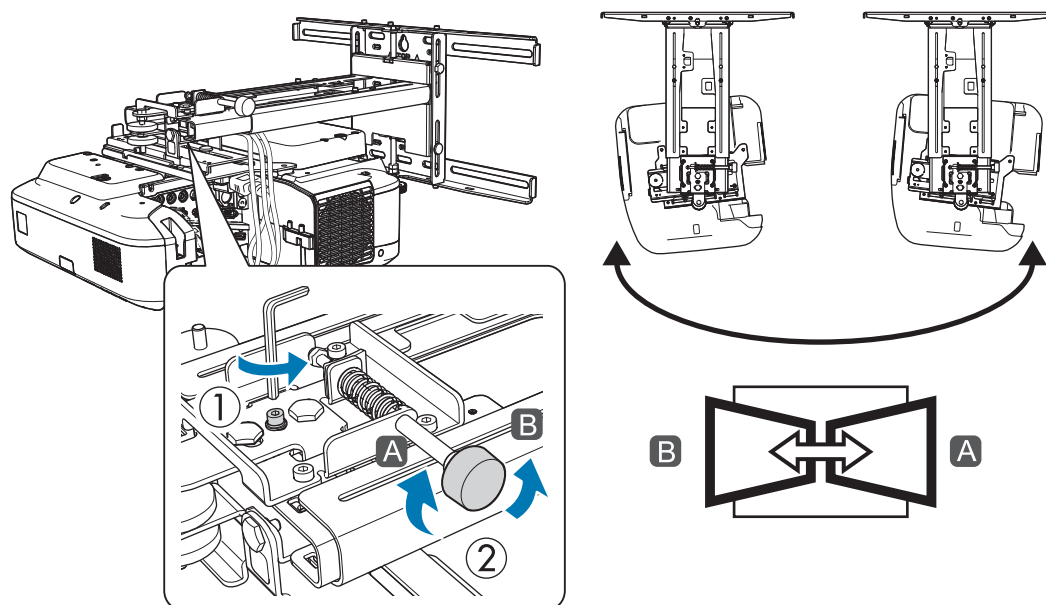
6 下側の調整ダイヤルを緩めてから、上側の調整ダイヤルで水平ロールを調整する

 必要に応じて手順6～11を繰り返します。



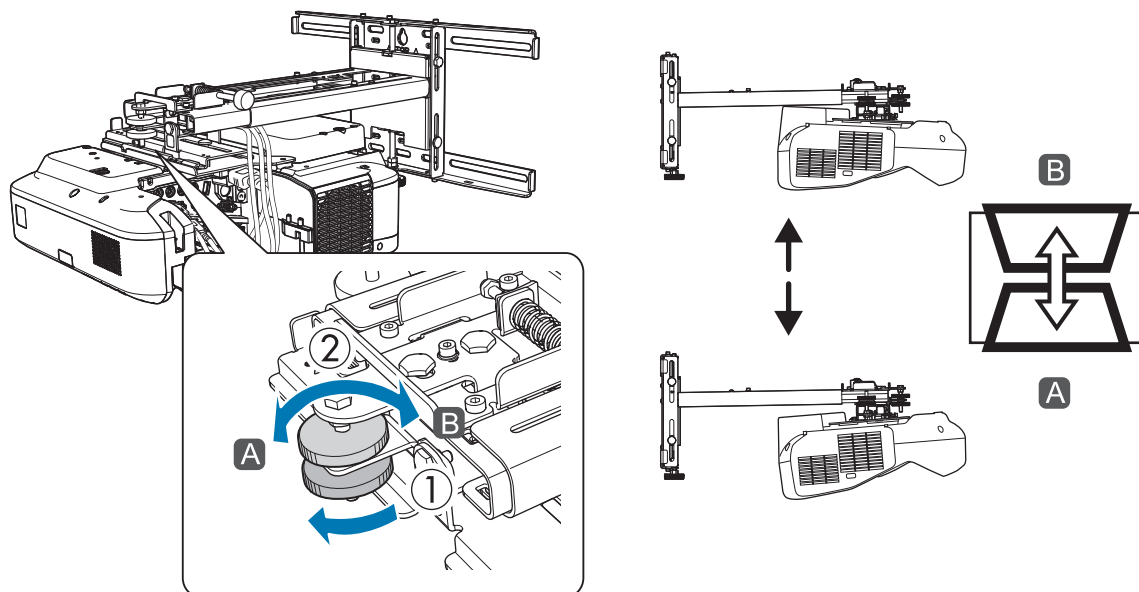
調整が終了したら、下側の調整ダイヤルを締め直します。

7 六角レンチでM4ネジ（1本）を緩めてから、調整ダイヤルで水平回転を調整する



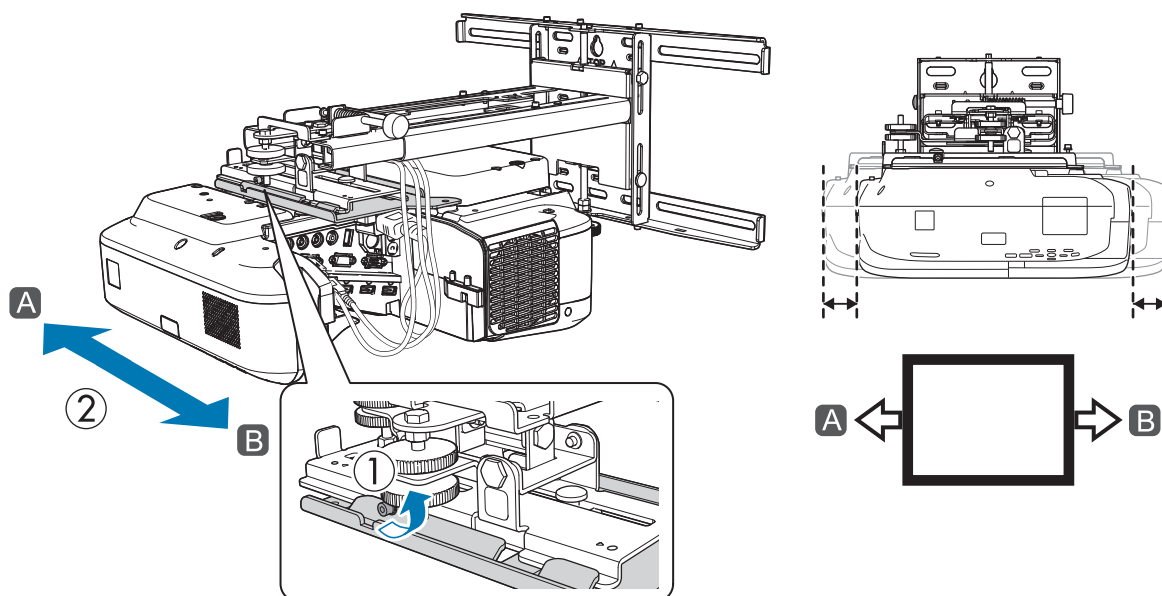
調整が終了したら、緩めたM4ネジを締め直します。

8 下側の調整ダイヤルを緩めてから、上側の調整ダイヤルで上下チルトを調整する



調整が終了したら、下側の調整ダイヤルを締め直します。

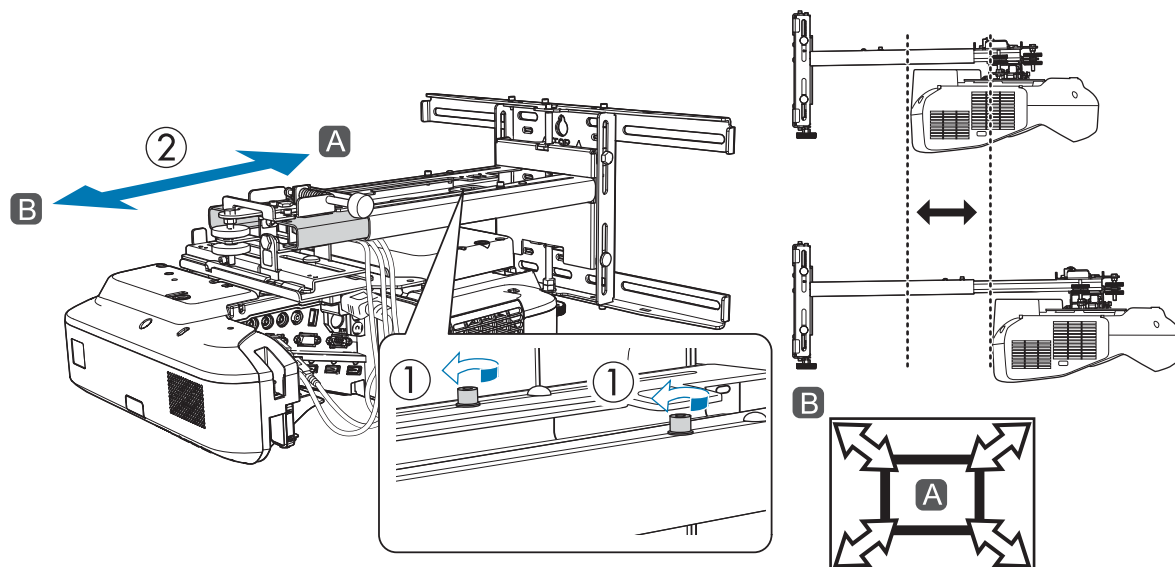
9 六角レンチでM4ボルトを緩めてから、水平スライドを調整する



調整が終了したら、緩めたM4ボルトを締め直します。

10

六角レンチでM4ボルト（2本）を緩めてから、前後スライドを調整する



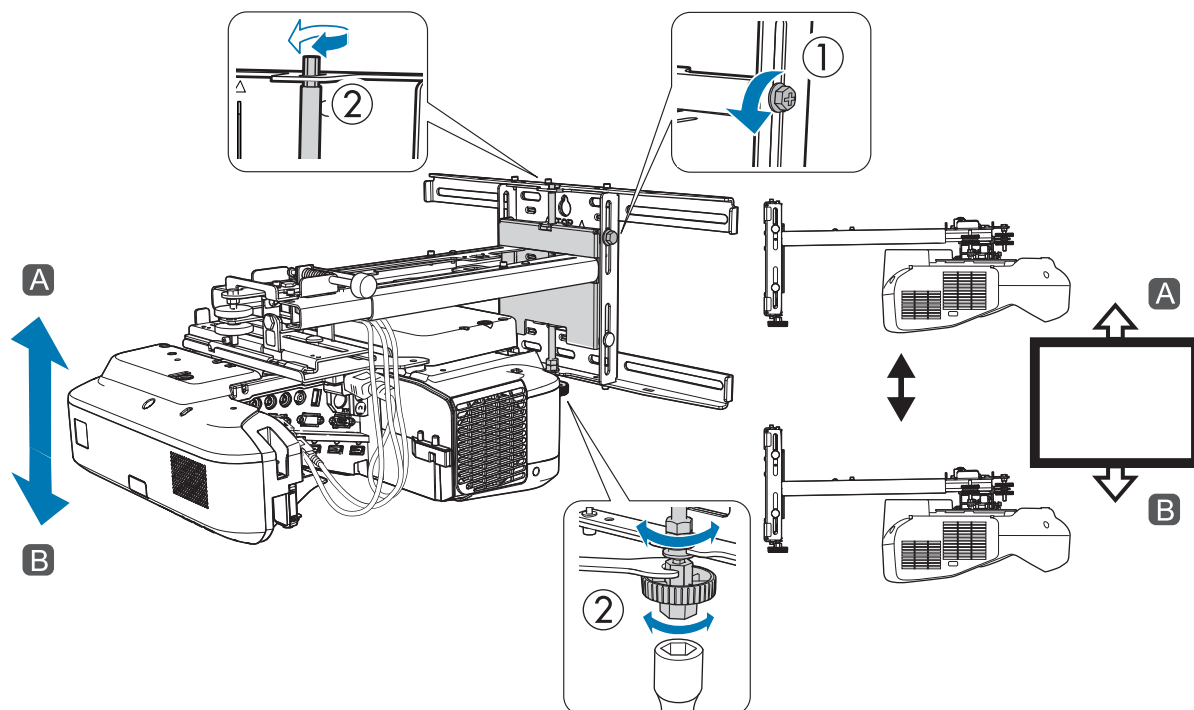
調整が終了したら、緩めたM4ボルトを締め直します。

11

両口スパナでM6ボルト（1本）を緩めてから、上下スライドを調整する

六角軸の上部または下部で、上下スライド調整をします。

- 上部の六角軸を締めるとセッティングプレートが上がり、緩めると下がります。
- 下部のM8ボルトを締めるとセッティングプレートが下がり、緩めると上がります。（17mmのソケットレンチも使用できます。）



調整が終了したら、緩めたM6ボルトを締め直します。

12

手順6から手順11で緩めたボルトやネジがすべて締まっていることを確認する

警告

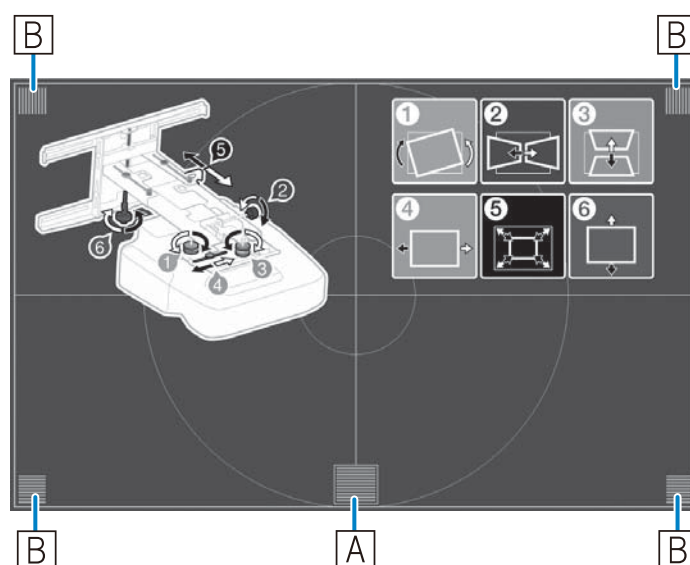
すべてのボルトやネジを完全に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。

13

下図（**A**）のピントが合うようにフォーカスを調整する

エアフィルターカバーを開け、フォーカスの調整を行ってください。

（**A**）のピントを合わせたら、（**B**）のピントが合っていることを確認します。（**B**）の中でピントが合っていない箇所があるときは、（**B**）のピントが均一になるようにフォーカスを調整します。



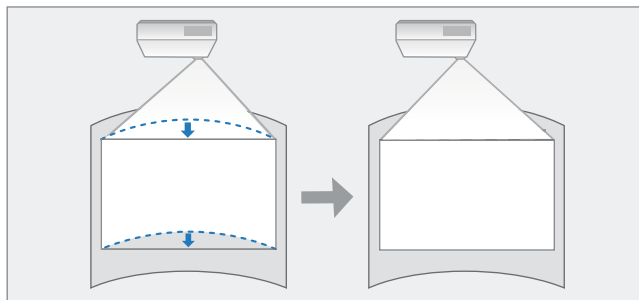
調整が終了したら、エアフィルターカバーを閉じます。

14

リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して、ガイド画面を消す

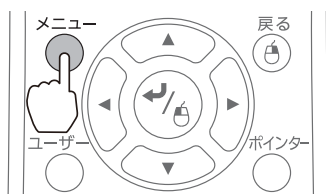
湾曲補正

湾曲したスクリーンに投写する場合は、湾曲補正で投写映像のゆがみを補正します。

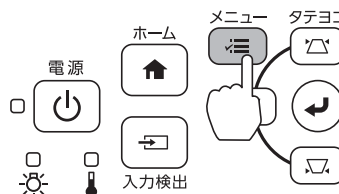


1 プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す

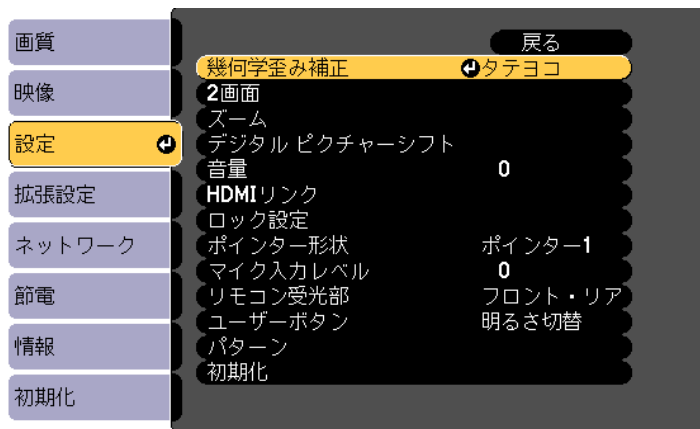
リモコンの場合



操作パネルの場合



2 【設定】から【幾何学歪み補正】を選択する



3 【湾曲補正】を選択する



4 【湾曲補正】を選択する



5

補正する辺を選択する



6

選択した辺を補正する

補正中に「これ以上調整できません。」と表示されたときは、グレーの三角で示す部分が補正量の限界に達したことを示しています。



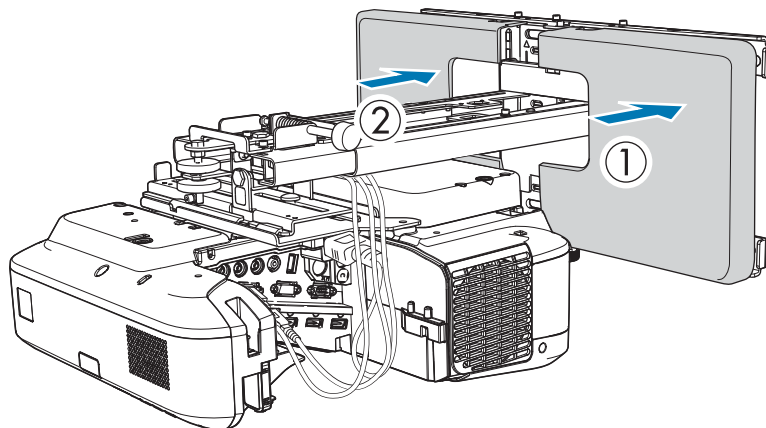
7

手順5と6を繰り返して、補正が必要な辺をすべて補正する

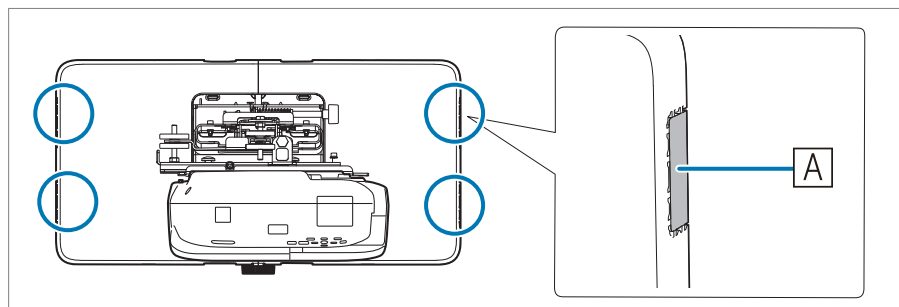
カバー類の取り付け

1 ウォールプレートカバーを取り付ける

右側のカバーから取り付けます。



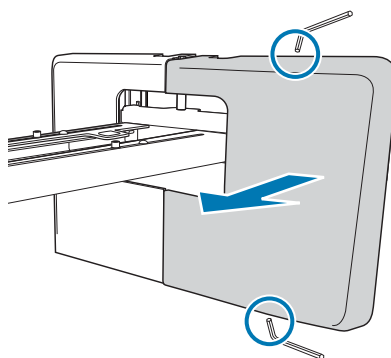
- ケーブルの配線状態に応じて、ウォールプレートカバーの切り欠き部（**A**）をカットしてケーブル類を引き出してください。カット面はバリ取り処理をしてください。



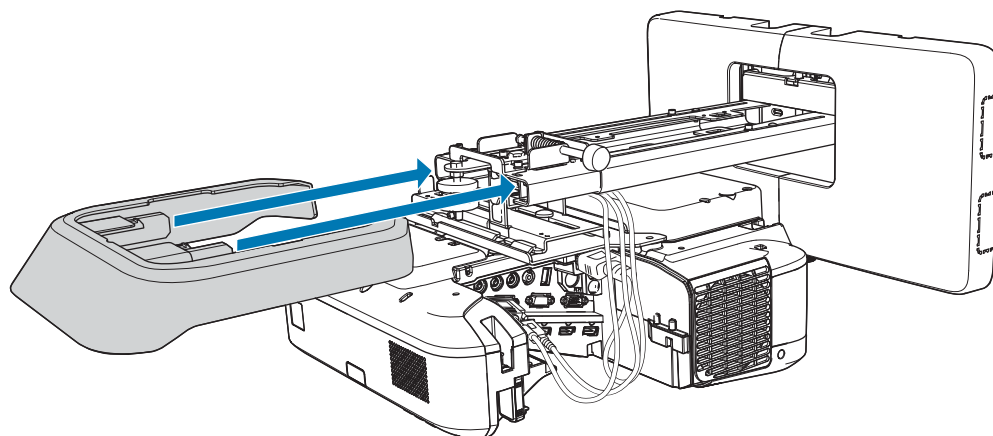
ケーブル類を引き出すときは、ケーブル類を傷つけないように引き出してください。

また、カッターをご使用の際は安全面に十分注意してください。

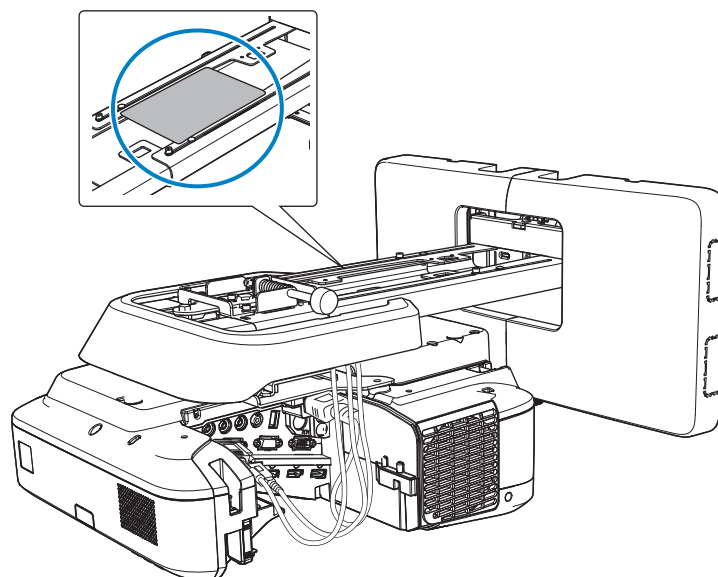
- ウォールプレートカバーを取り外すときは、ウォールプレートカバー背面の上下にあるツメを、六角レンチなどで押して手前に引きます。



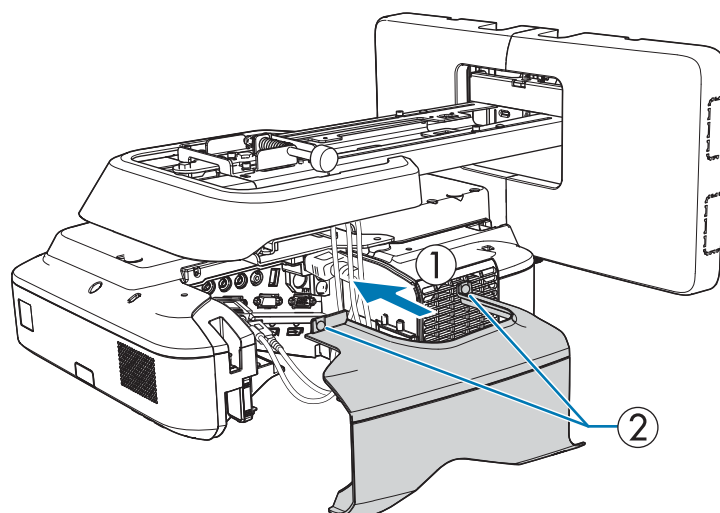
2 エンドキャップをセッティングプレートにはめ込む



 アームの空洞が気になるときは、同梱の目隠しシールを貼り付けてください。



3 プロジェクターにケーブルカバーを取り付けて、ネジ（2本）で固定する



 注意

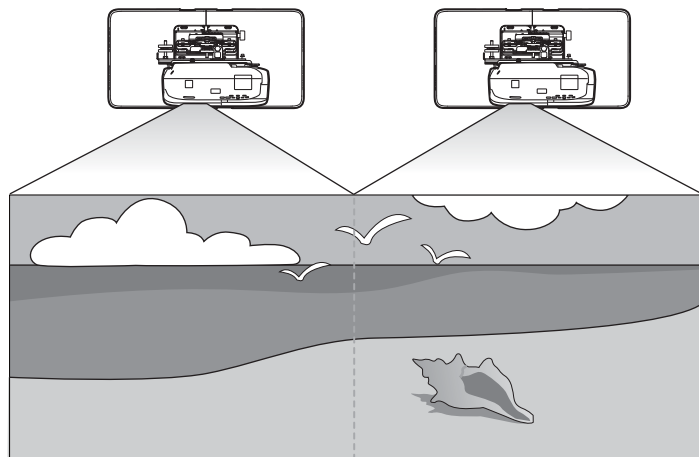
プロジェクターのメンテナンスや修理をするときは、必ず工事専門業者がプロジェクターの取り外しと再設置を行ってください。なお、プロジェクターのメンテナンスおよび修理の方法は、プロジェクターの『取扱説明書』を参照してください。

 警告

- 設置後は、ボルト・ナットを絶対に緩めないでください。また、定期的にネジ類の緩みがないことを確認してください。万一、緩みがあるときは、確実に締め直してください。十分に締めないで落下によりけがや事故の原因となります。
- 本製品にぶら下がらないでください。また、重い物をぶら下げないでください。本製品が壊れて落下すると大変危険です。本製品が落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。

本機を複数台並べて設置する（マルチプロジェクトクション）

複数台のプロジェクターを並べて設置して、1つの大きな画面を投写できます（マルチプロジェクトクション）。



本機を複数台並べて設置するときの流れは、以下でご確認ください。（☞「設置の流れ」 [p.6](#)）



1台のコンピューターの画面を投写する場合、以下の準備が必要です。設定方法はお使いのコンピューターの取扱説明書でご確認ください。

- 1台のコンピューターから、2台のプロジェクターそれぞれにケーブルを接続する（コンピューター側に、映像出力端子が2つ必要です）
- 1台のコンピューターから複数の画面に映像を出力するように設定する

マルチプロジェクトクション設定

マルチプロジェクトクション機能を使うときは、以下の手順で設定を行います。

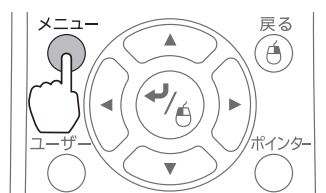
- 1** プロジェクターIDの設定（☞ [p.52](#)）
- 2** マルチプロジェクトクションの映像調整（☞ [p.55](#)）

■ プロジェクターID の設定

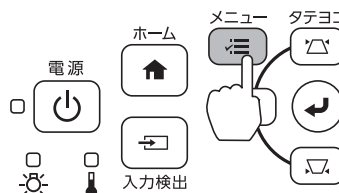
1

プロジェクターの電源をオンにして【メニュー】ボタンを押す

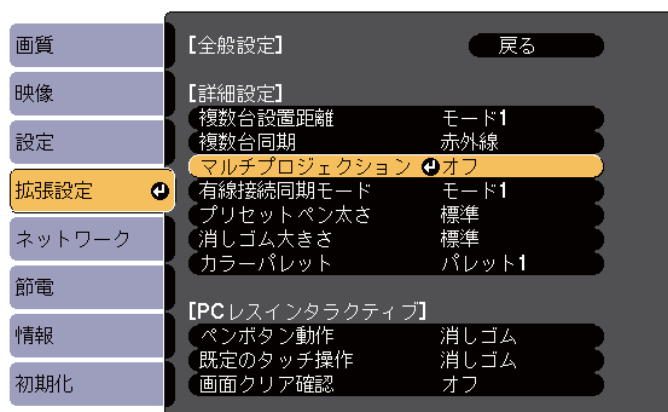
リモコンの場合



操作パネルの場合



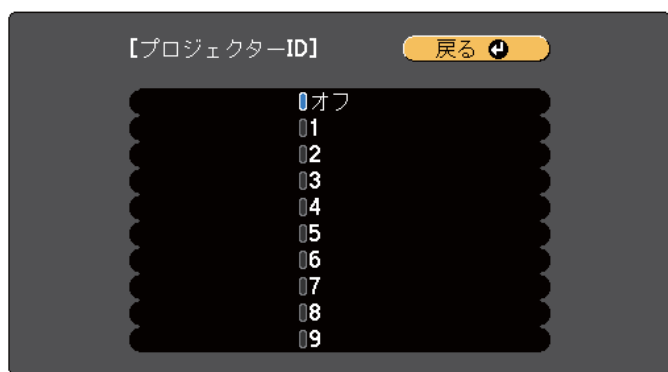
2 【拡張設定】で【マルチプロジェクション】を選択する



3 【プロジェクターID】を選択する



4 対象のプロジェクターに設定するID番号を選択する

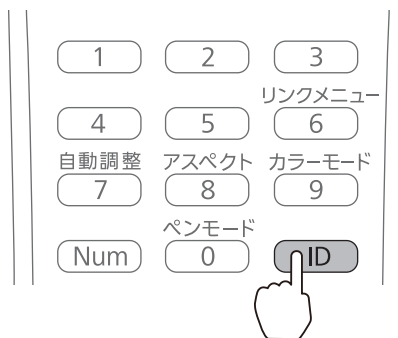


5 【メニュー】 ボタンを押してメニューを終了する

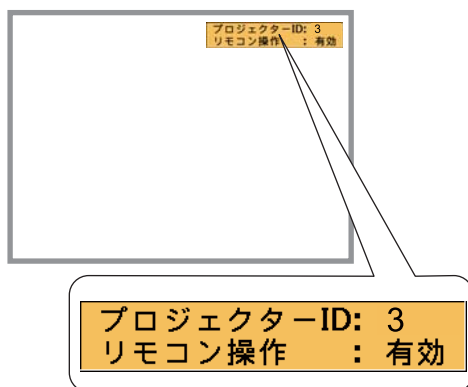
残りのプロジェクターについて、手順1 ～5 を繰り返します

6

操作対象のプロジェクターにリモコンを向けて、【ID】 ボタンを押す

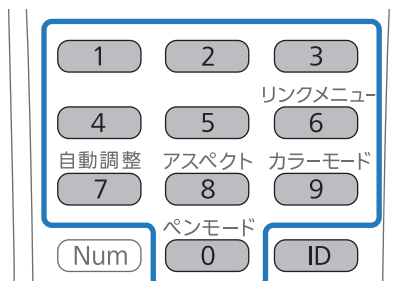


プロジェクターに設定されたIDが投写画面に表示されます。表示は約3秒後に消えます。



7

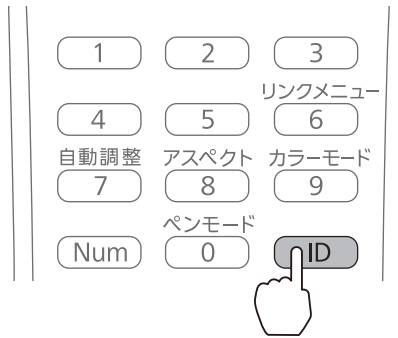
【ID】 ボタンを押したまま、操作対象のプロジェクターIDと同じ数字のボタンを押す



選択したIDが設定されたプロジェクターのリモコン操作が有効になります。

8

【ID】 ボタンを押して、IDの設定を確認する



以下が表示されます。

- リモコン操作：[有効] と表示：現在操作中のプロジェクターでリモコン操作ができるよう設定されています。
- リモコン操作：[無効] と表示：リモコン操作ができないように設定されています。上記の手順を繰り返して、リモコン操作を有効にしてください。



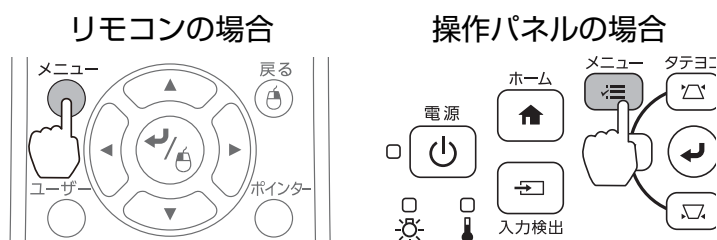
- 操作対象のプロジェクターIDは、プロジェクターの電源を入れるたびに選択する必要があります。電源投入時、リモコンのID設定は0になっています。
- [プロジェクターID] を [オフ] に設定しているときは、リモコンで選択したID設定に関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。
- リモコンでIDを0に選択したときは、プロジェクターIDの設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。

■ マルチプロジェクションの映像調整

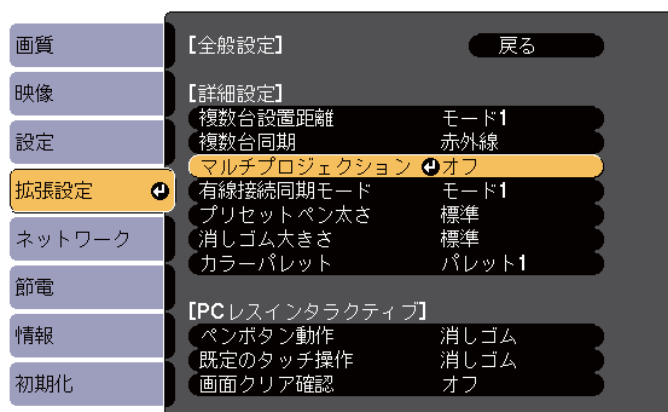
- プロジェクターの位置調整が終わっていることを確認してください。
 ➡ 「プロジェクターの位置調整」 [p.41](#)
- マルチプロジェクションで投写している映像のズレが気になるときは、湾曲補正をお試しください。
 ➡ 「湾曲補正」 [p.47](#)

1

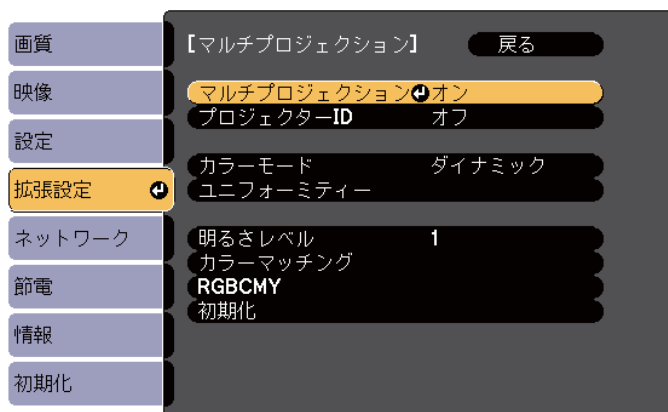
プロジェクターの電源をオンにして【メニュー】ボタンを押す



2 【拡張設定】で【マルチプロジェクション】を選択する



3 【マルチプロジェクション】を【オン】に設定する



【戻る】ボタンを押して、一つ前の画面に戻ります。

4 各設定を行う

【カラーモード】

【ユニフォーミティー】

【明るさレベル】

【カラーマッチング】

それぞれのプロジェクターで同じ項目を設定します。

画面全体の色味のバランスを調整します（必要な場合のみ）。

ランプ個体の明るさがそれぞれ異なるときに、ランプの明るさを1～5のレベルで調整します。一番暗いランプを基準に調整してください。【節電】メニューの【明るさ切替】を【高】に設定しているときのみ調整可能です。

全白から全黒の間で階調ごとに色味と明るさを調整します。



一括設定機能

1台のプロジェクターで設定したプロジェクターメニューの内容を、他の複数のプロジェクターに一括で設定できます（一括設定機能）。一括設定機能は同じ型番のプロジェクター間でのみ使用できます。

以下のいずれかの方法で設定します。

- USBメモリーを使って設定する。
- コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する。
- EasyMP Network Updaterを経由して設定する。

本書では、USBメモリーを使う方法とUSBケーブルを使う方法を説明します。



- 以下の内容は一括設定機能では反映されません。
 - ネットワークメニューの設定（通知メニュー、その他メニューを除く）
 - 情報メニューのランプ点灯時間、ステータス
 - プロジェクターの位置調整を行う前に一括設定を行ってください。一括設定機能では、台形補正などの投写画面の調整値も反映されます。プロジェクターの位置調整後に一括設定を行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。
 - 一括設定機能を使うと、登録してあるユーザーロゴも他のプロジェクターに反映されます。機密情報などをユーザーロゴとして登録しないでください。



注意

一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。

USBメモリーを使って設定する

USBメモリーを使って一括設定を行う方法を説明します。



- FAT 形式でフォーマットしたUSBメモリーを使用してください。
- セキュリティー機能が付いているUSBメモリーでは、一括設定機能が利用できません。セキュリティー機能の付いていないUSBメモリーをお使いください。
- USBカードリーダーやUSBハードディスクでは、一括設定機能は利用できません。

■ 設定値をUSBメモリーに保存する

- 1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認する

- 2 USBメモリーをプロジェクターのUSB-A端子に接続する

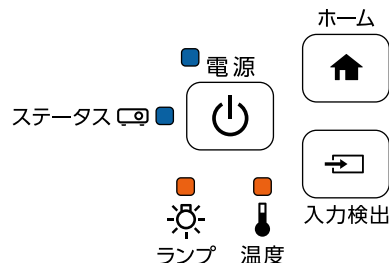


- USB メモリーは、プロジェクターに直接接続してください。USB ハブを介してUSBメモリーを接続すると、設定値の保存が正常に行われなかったことがあります。
- 空のUSBメモリーを接続してください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定値が正しく保存できないことがあります。
- USBメモリー内に他のプロジェクターの一括設定ファイルを保存しているときは、ファイルを削除するかファイル名を変更してください。一括設定機能では、一括設定ファイルの上書きはできません。
- 一括設定したファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときはPJCONFDATAの後ろに任意の文字列を追加してください。他のファイル名に変更すると、プロジェクターが正しく認識できないことがあります。
- 2バイト以上の文字は、ファイル名に使えません。

3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

ステータスインジケータと電源インジケータが青色に、ランプインジケータと温度インジケータが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケータがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離してください。

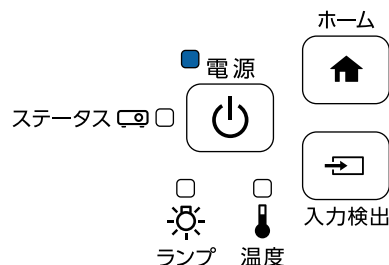


すべてのインジケータが点滅に変わると、一括設定ファイルの書き込みが始まります。

⚠ 注意

- ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。
- ファイルの書き込み中は、プロジェクターからUSBメモリーを抜かないでください。USBメモリーを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケータのみが青色に点灯します。



プロジェクターの電源がオフになったら、USBメモリーを抜きます。

■ 保存した設定値を他のプロジェクターに反映する

1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケータがすべて消灯していることを確認する

2 一括設定ファイルを保存したUSBメモリーを、プロジェクターのUSB-A端子に接続する

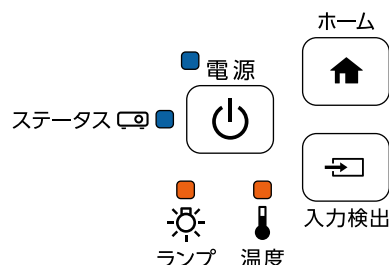


- USBメモリー内に一括設定ファイルが1～3種類あるとき、同じ型番のプロジェクターのファイルを反映します。同じ型番のプロジェクターのファイルが2つ以上あるときは、設定値が正常に反映できないことがあります。
- USBメモリー内に4種類以上の一括設定ファイルがあるとき、設定値が正常に反映できないことがあります。
- USBメモリーには一括設定ファイル以外のデータを入れないでください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定値が正しく反映できないことがあります。

3 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

ステータスインジケータと電源インジケータが青色に、ランプインジケータと温度インジケータが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケータがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離してください。インジケータは約75秒点灯します。

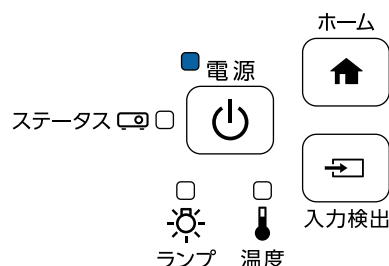


すべてのインジケータが点滅になると、設定値の書き込みが始まります。

⚠ 注意

- 設定値の書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。
- 設定値の書き込み中は、プロジェクターからUSBメモリーを抜かないでください。USBメモリーを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケータのみが青色に点灯します。



プロジェクターの電源がオフになったら、USBメモリーを抜きます。

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する



一括設定機能の対応OSは以下のとおりです。

- Windows Vista以降
- Mac OS X 10.7.x以降

■ 設定値をコンピューターに保存する

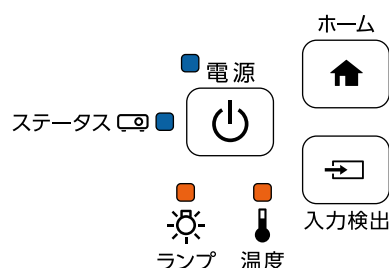
1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認する

2 コンピューターのUSB 端子とプロジェクターのUSB-B 端子をUSB ケーブルで接続する

3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

ステータスインジケーターと電源インジケーターが青色に、ランプインジケーターと温度インジケーターが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離してください。



コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

4 リムーバブルディスクを開き、一括設定ファイル (PJCONFDATA.bin) をコンピューターに保存する



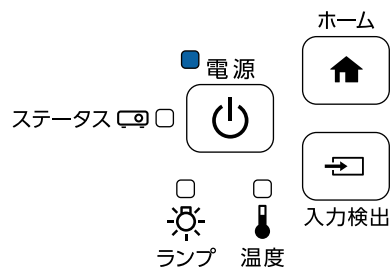
一括設定ファイルのファイル名を変更するときはPJCONFDATAの後ろに任意の文字列を追加してください。他のファイル名に変更すると、正しく認識できないことがあります。2バイト以上の文字は、ファイル名に使えません。

5 コンピューター上で「USBデバイスの取り外し」を行ってから、USBケーブルを抜く



OS Xをお使いの場合は、「"EPSON_PJ"の取り出し」を行ってください。

プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケーターのみが青色に点灯します。

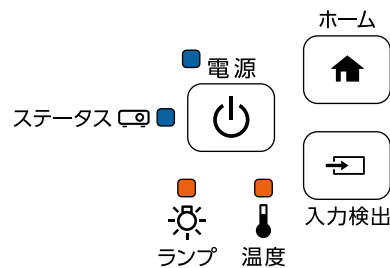


■ 保存した設定値を他のプロジェクターに反映する

- 1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケータがすべて消灯していることを確認する
- 2 コンピューターのUSB 端子とプロジェクターのUSB-B 端子をUSB ケーブルで接続する
- 3 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

ステータスインジケータと電源インジケータが青色に、ランプインジケータと温度インジケータが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケータがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離してください。



コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

- 4 コンピューターに保存した一括設定ファイル (PJCONFDATA.bin) をリムーバブルディスクの最上位フォルダーにコピーする



リムーバブルディスク上に、一括設定ファイル以外のファイルやフォルダーをコピーしないでください。

5 コンピューター上で「USBデバイスの取り外し」を行ってから、USBケーブルを抜く



OS Xをお使いの場合は、「"EPSON_PJ"の取り出し」を行ってください。

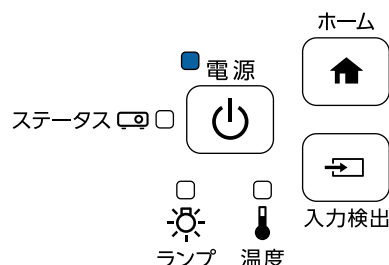
すべてのインジケーターが点滅すると、設定値の書き込みが始まります。



注意

設定値の書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケーターのみが青色に点灯します。



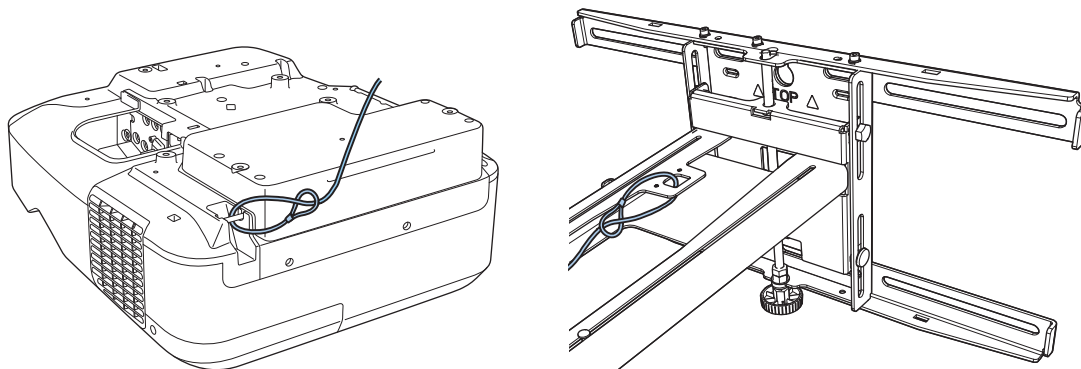
設定がうまくいかないときは

確認	対処法
ランプインジケーター、温度インジケーターが、橙色に速く点滅していませんか？	一括設定ファイルに異常があるか、USBメモリーまたはUSBケーブルが正しく接続できていない可能性があります。USBメモリーまたはUSBケーブルを取り外し、プロジェクターの電源コードを抜いて差し直してから、もう一度お試しください。
電源インジケーターとステータスインジケーターが青色に、ランプインジケーターと温度インジケーターが橙色に、それぞれ速く点滅していませんか？	設定値の書き込みに失敗して、プロジェクターのファームウェアに異常が生じた可能性があります。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。

■ セキュリティーケーブルの取り付け

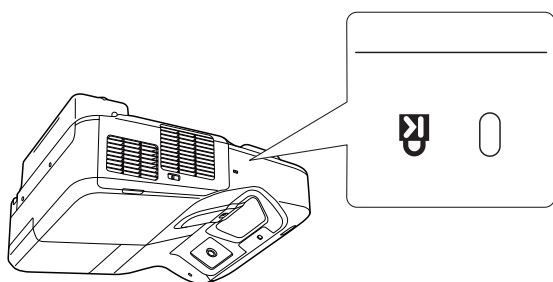
本製品には、市販の盗難防止用ワイヤーロックを取り付けられます。

盗難防止用ワイヤーロックのワイヤーをプロジェクターとセッティングプレートのセキュリティーケーブル取り付け部に通します。ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックに添付の取扱説明書をご覧ください。



本製品は、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティースロットを搭載しています。マイクロサーバーセキュリティーシステムについての詳細は、以下をご覧ください。

<http://www.kensington.com/>



商標について

OS Xは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2016. All rights reserved.